

石川県こころの健康センター所報

第 47 号

(令和6年度実績)

石川県こころの健康センター

— 2025 —

目 次

I こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

II 令和6年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付	8
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
(3) 精神医療審査会	12

2 相談課業務

(1) 技術支援	13
(2) 教育研修	15
(3) 普及啓発	18
(4) 精神保健福祉相談	21
(5) 組織育成	29
(6) ひきこもり対策推進事業	32
(7) 依存症関連問題指導事業	37
(8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	41
(9) 自殺予防対策推進事業	42
(10) 子どもの心のケア推進事業	45
(11) 精神障害者地域生活支援事業	50
(12) 災害時のこころのケア	51

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援	58
(2) 精神科医による相談事業	61
(3) 青年期グループ活動	62
(4) 就労者グループ活動	62
(5) 親のつどい	62
(6) 関係機関等との調整会議	62
(7) 機関コンサルテーション	63
(8) 個別支援のための調整会議	64
(9) 普及啓発及び研修	65

Ⅲ 資 料

1	精神保健福祉相談状況（電話・メール・来所・訪問）	71
2	普及啓発活動	75
3	関係機関・団体との連携	77
4	集団活動	79
5	こころの健康センター貸出しDVD一覧	80

I こころの健康センター概要

1 沿革

- 昭和 41 年 10 月 石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
- 昭和 56 年 11 月 金沢市南新保町ル 3-1（現在地）に新築移転する。
- 12 月 デイ・ケア事業（～平成 25 年度）、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
- 昭和 57 年 4 月 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
- 昭和 58 年 4 月 親子通所センターが石川県中央児童相談所より移管される。
同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
- 昭和 61 年 4 月 心の健康づくり推進事業を開始する。
- 昭和 63 年 4 月 石川県精神保健センターと名称を変更する。
痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）
メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
- 平成 元 年 4 月 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
- 平成 3 年 4 月 こころの相談ダイヤル事業を開始する。
- 平成 6 年 4 月 こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
- 平成 7 年 7 月 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
- 平成 8 年 10 月 ピア・カウンセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
- 平成 13 年 4 月 石川県こころの健康センターと名称を変更する。
ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）を開始する。
ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業を開始する。
- 平成 14 年 4 月 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。
ひきこもり家族交流会を開始する。

平成 14 年 10 月	住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
平成 17 年 4 月	発達障害支援センターが設置される。
平成 18 年 4 月	親子通所センターが閉所される。(訓練課を廃止し、支援課を新設)
11 月	自死遺族交流会 (J 交流会) を開始する。
平成 20 年 9 月	石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
平成 20 年 9 月	いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
平成 21 年 5 月	ひきこもり地域支援センターが設置される。
平成 21 年 9 月	こころの緊急支援事業 (C R T) を開始する。(～平成 2 6 年度)
平成 22 年 6 月	依存症教室を開始する。
平成 23 年 3 月	「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。
平成 24 年	「かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ」を設立
平成 27 年 6 月	依存症家族交流会を開始する。
平成 27 年 7 月	依存症再発予防プログラムを開始する。
平成 31 年 4 月	石川県依存症相談拠点に選定される。
令和 3 年 2 月	「こころの相談ダイヤル」が 24 時間対応となる。
令和 6 年 1 月	令和 6 年能登半島地震の状況に鑑み「石川こころのケアセンター」を設置し、被災に関するこころの悩みについての電話相談事業を開始する。
2 月	「石川こころのケアセンター」において、支援者専用の電話相談事業を開始する。

2 施設の概況

(1) 土 地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地（〒920－8201） TEL 076(238)5761

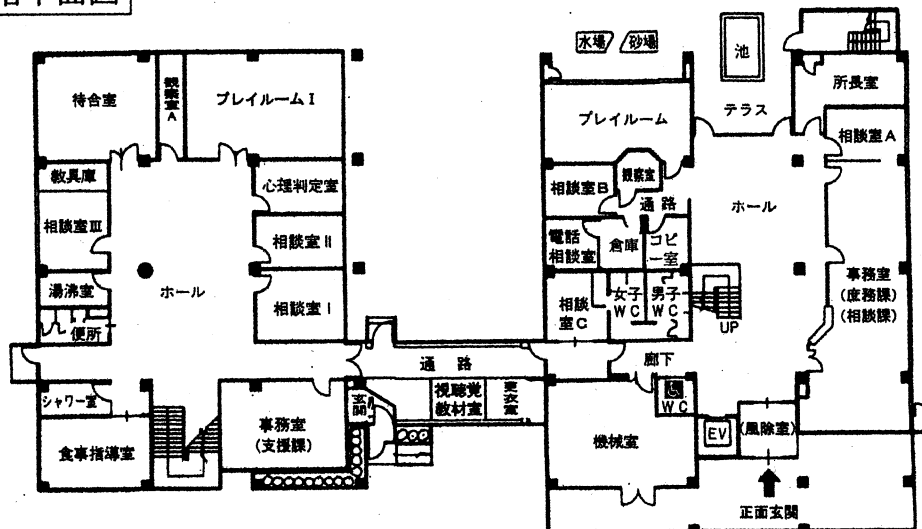
敷 地 3,400.14㎡

(2) 建 地

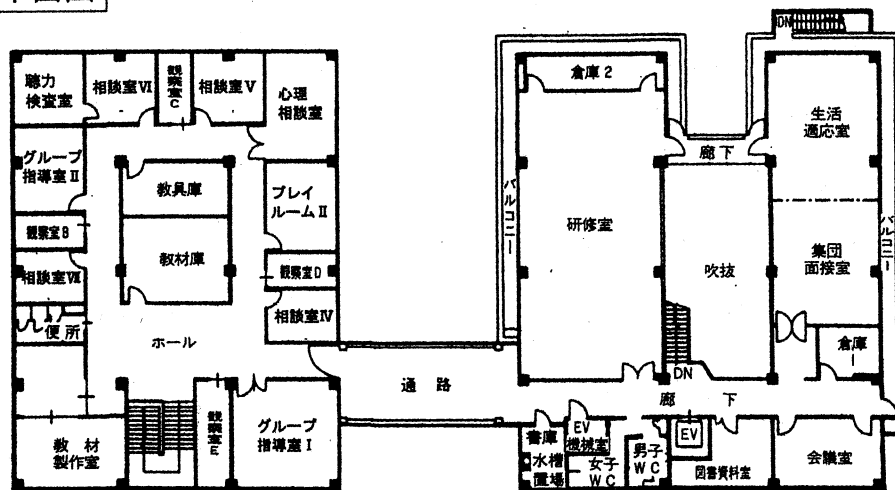
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26㎡

《館内平面図》

1 階平面図



2 階平面図

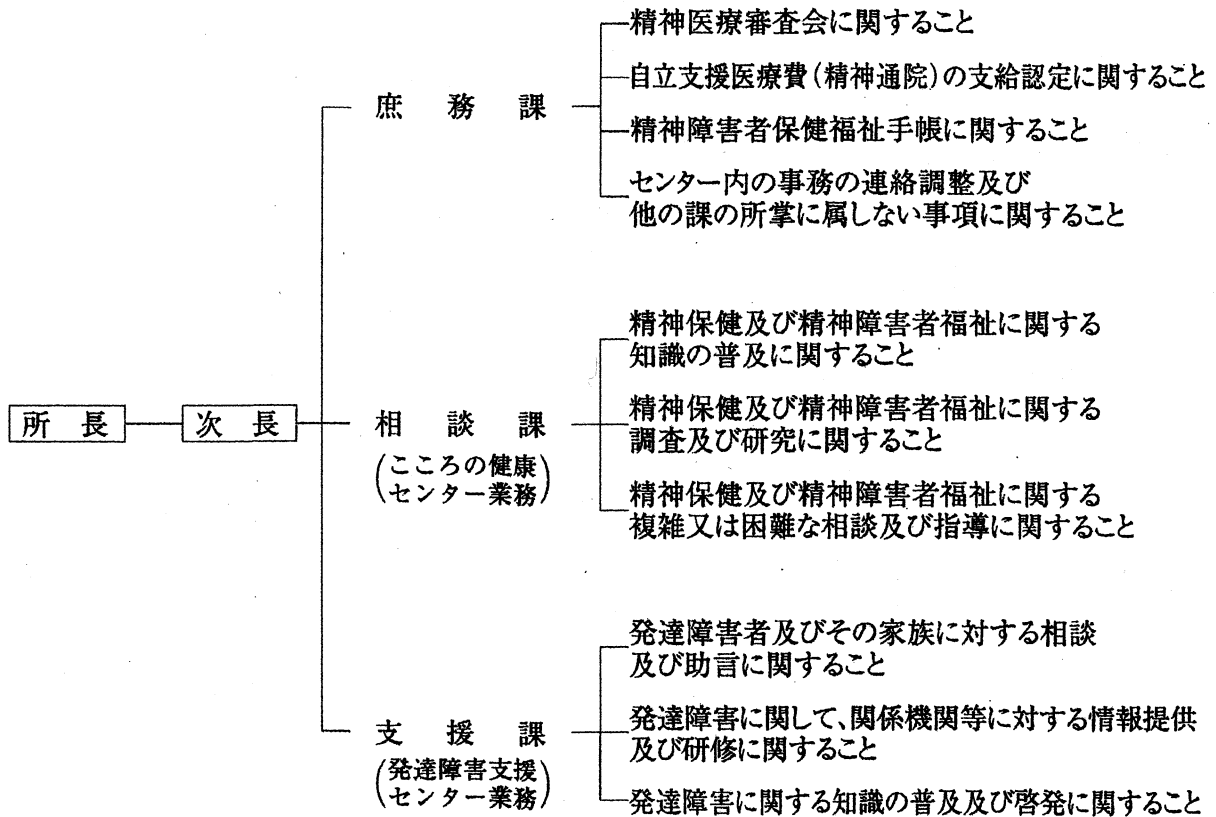


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

3 組織・機構

(1) 機 構



(2) 職種別職員数

(令和7年8月1日現在)

職 種		医 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	精神保健福祉士	福祉指導員	心理判定員	電話相談員	事務職員	事務補助員	計
職員	常 勤		3			2		7		4		16
	兼 務	1										1
	再任用(フル)						1					1
	再任用(31h)											0
任用職員 会計年度	常勤の非常勤				1			1		3	1	6
	短時間非常勤 (29h)				1						1	2
	短時間非常勤 (29h未満)				1			1	1			3
計		1	3	0	3	2	1	9	1	7	2	39

(3) 課別職員数

(令和7年8月1日現在)

課 名	職 種	職 員				会計年度任用職員			計
		常 勤	兼 務	再任用 (フル)	再任用 (31h)	常勤の 非常勤	短時間 非常勤 (29h)	短時間 非常勤 (29h未満)	
所 長	医 師		1						1
次 長 兼 庶務課長	事 務 職 員	1							1
庶務課	助 産 師								8
	事 務 職 員	3				3			
	事 務 補 助 員					1	1		
相談課	保 健 師	2							23
	看 護 師					1	1	1	
	精神保健福祉士	2							
	心 理 判 定 員	4						1	
	電 話 相 談 員							1	
支援課	保 健 師	1							6
	看 護 師								
	福 祉 指 導 員			1					
	心 理 判 定 員	3				1			
計		16	1	1	0	6	2	3	39

4 業 務

I 庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

II 相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」（平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知）により、次の業務を行っている。

(1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をしている。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町及び関係諸機関に対し、専門的立場から、技術指導及び技術援助を実施している。

(3) 人材育成

保健所、市町、福祉事務所その他の関係機関で精神保健福祉業務に従事する職員等に、専門的研修を実施している。

(4) 普及啓発

県域規模で一般住民に対し精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識、精神障害者の権利擁護等について普及啓発を行うとともに、保健所及び市町が行う普及啓発活動に対して専門的立場から協力、指導及び援助を行っている。

(5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料を収集整備し、保健所、市町等が行う精神保健福祉活動が効果的に展開できるよう資料を提供している。

(6) 精神保健福祉相談

センターは、精神保健及び精神障害者福祉に関する相談及び指導のうち、複雑又は困難なものを行っている。心の健康相談から、精神医療に係る相談、社会復帰相談をはじめ、アルコール、薬物、思春期、認知症等の特定相談を含め、精神保健福祉全般の相談を実施している。またこれらの相談指導等を行うため、必要に応じて関係諸機関の協力を求めている。

(7) 組織育成

地域精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による家族会等の関係団体の育成に努め、活動を支援している。

Ⅲ 支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害者支援センター業務を担い「発達障害者支援センター運営事業の実施について」（平成 25 年 7 月 1 日障発 0701 第 1 号障害福祉課長通知）により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修
(関係施設及び関係機関等との連携)

Ⅱ 令和6年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

ア 制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

イ 対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

ウ 障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

エ 交付手続き

申請書に写真（上半身）と（ア）又は（イ）の書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

（ア）医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

（イ）年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

オ 審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（各会議に4名出席で開催）で、令和6年度は21回開催した。

カ 手帳の有効期間

2年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

キ 手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分			計		新 規		更 新	
					診断書	年金	診断書	年金
令和 2年度	申請		4,842		2,543	2,299	841	315
	交付	1級	304		125	179	37	37
		2級	3,986		2,062	1,924	669	244
		3級	518		345	173	129	30
		計	4,808		2,532	2,276	835	311
令和 3年度	申請		5,574		2,993	2,581	1,019	437
	交付	1級	280		122	158	31	30
		2級	4,653		2,481	2,172	844	354
		3級	605		386	219	142	45
		計	5,538		2,989	2,549	1,017	429
令和 4年度	申請		5,660		2,859	2,801	944	385
	交付	1級	332		118	214	27	24
		2級	4,688		2,311	2,377	766	331
		3級	607		423	184	145	24
		計	5,627		2,852	2,775	938	379
令和 5年度	申請		6,048		3,141	2,907	1,054	379
	交付	1級	260		102	158	20	22
		2級	5,088		2,600	2,488	899	316
		3級	660		432	228	130	32
		計	6,008		3,134	2,874	1,049	370
令和 6年度	申請		6,265		3,238	3,027	1,103	360
	交付	1級	307		114	193	23	17
		2級	5,194		2,613	2,581	915	297
		3級	731		501	230	158	40
		計	6,232		3,228	3,004	1,096	354

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

ア 制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり)、残りを公費負担とする。

イ 対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

ウ 申請手続き

申請書に(ア)又は(イ)の場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

(ア) 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

(イ) 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

エ 支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

オ 支給認定の有効期間

1年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

カ 受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況

（単位：件）

年 度	計	保 険 者 別 内 訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
令和 2	18,800	4,213	3,758	7,909	2,559	361
令和 3	17,771	4,096	3,590	7,472	2,341	272
令和 4	19,347	4,671	3,884	7,844	2,616	332
令和 5	19,329	4,764	3,854	7,702	2,653	356
令和 6	19,885	5,102	3,947	7,724	2,653	459

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成 2 7	538	5,475	911	6,924	14,577
平成 2 8	518	5,964	999	7,481	15,154
平成 2 9	527	6,526	1,031	8,084	15,656
平成 3 0	542	7,120	1,024	8,686	16,220
令和 元	585	8,081	1,104	9,770	18,053
令和 2	567	8,111	1,074	9,752	18,813
令和 3	587	8,601	1,135	10,323	17,642
令和 4	591	9,061	1,197	10,849	18,255
令和 5	589	9,741	1,276	11,606	19,157
令和 6	564	10,087	1,326	11,977	19,219

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（令和7年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手 帳	1級	27	49	24	3	44	20	287	10	19	11
	2級	469	772	396	41	1,011	457	4,785	310	287	245
	3級	82	151	69	7	153	85	515	35	36	20
	計	578	972	489	51	1,208	562	5,587	355	342	276
通 院		1,056	1,484	787	72	1,728	888	8,869	625	545	407
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手 帳	1級	10	7	9	18	2	4	3	13	4	564
	2級	162	112	90	428	141	145	56	120	60	10,087
	3級	17	13	12	67	25	19	1	13	6	1,326
	計	189	132	111	513	168	168	60	146	70	11,977
通 院		323	226	194	930	304	311	119	214	137	19,219

(3) 精神医療審査会

ア 設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 12 条

イ 審査会の業務

病院からの次の病状報告や精神障害者の退院請求等に対して入院継続の要否又は処遇の適否を審査する。

(ア) 措置入院者の定期病状報告書、措置入院決定報告書、措置入院に関する診断書、医療保護入院者の入院期間更新届、医療保護入院者退院支援委員会審議記録、医療保護入院者の入院届

(イ) 入院中の者又はその家族等からの退院請求又は処遇改善の請求

ウ 委員構成

委員 20 人（医療委員 9 人、法律家委員 4 人、有識者委員 7 人）

予備委員 6 名（医療予備委員 2 名 法律家予備委員 2 名 有識者予備委員 2 名）

エ 合議体

審査会には 5 人で構成する合議体を 4 つ設置し、審査は月 2 回行う。

オ 令和 6 年度の開催実績

審査会 21 回、全体会議 1 回

表 5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の定期病状報告書		措置入院決定報告書		医療保護入院者の定期病状報告書		医療保護入院者の入院期間更新届		医療保護入院者の入院届		審査件数合計	
	審査件数	面接件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等
平成 27	39	37	—	27	—	—	—	1,235	—	—	—	2,833	—	4,134	—
平成 28	25	23	—	26	—	—	—	1,260	—	—	—	2,869	—	4,180	—
平成 29	32	30	2	28	—	—	—	1,214	—	—	—	2,877	—	4,151	2
平成 30	27	23	4	34	—	—	—	1,164	—	—	—	2,873	—	4,098	4
令和 元	21	20	3	17	—	—	—	1,174	—	—	—	3,027	—	4,239	3
令和 2	25	24	5	32	—	—	—	1,205	—	—	—	2,855	—	4,117	5
令和 3	29	26	5	20	—	—	—	1,230	—	—	—	2,787	—	4,066	5
令和 4	33	32	1	19	—	—	—	1,213	—	—	—	2,832	—	4,097	1
令和 5	34	35	3	12	—	—	—	1,215	—	—	—	2,892	—	4,153	3
令和 6	28	28	—	6	—	48	—	121	—	1,581	—	2,579	—	4,363	—

注) 入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が示された件数

2 相談課業務

(1) 技術支援

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係機関に対し職員等を派遣するなど専門的な立場から技術支援を行っている。ケースの個別対応の依頼や助言をはじめ、地域精神保健福祉に関わる打ち合わせや会議等に参加している。また、他機関からの講演依頼や研修依頼等も受けている。R6年度においては、令和6年能登半島地震に関する技術支援の件数が大幅に増えている。主な内容としては、災害関連のパンフレットの配布、こころのケアセンター（※以下、こケセンとする）関連の取材対応と連絡調整、他県のこケセンとの情報交換会開催、奥能登への訪問等が挙げられる。

表1 技術支援回数

区分	計	事例検討会	相談・訪問支援	知識の普及・保健活動	会議への参画	関係機関との連絡調整	当事者クラブ活動等の支援	学生教育・実習	情報提供・その他
合計	1,185	6	118	53	141	571	2	9	285

ア 保健所及び福祉健康センター

地域のメンタルヘルスの支援を担う保健所に対して、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）の連絡会議の参画をはじめ、メンタルヘルス全般に関して専門的な立場から技術支援を行っている。

表2 保健所等への技術支援回数

区分	計	事例検討会	相談・訪問支援	知識の普及・保健活動	会議への参画	関係機関との連絡調整	当事者クラブ活動等の支援	学生教育・実習	情報提供・その他
南加賀保健福祉センター	34	1	6	4	4	13	1	0	5
石川中央保健福祉センター	31	0	5	2	5	15	0	0	4
能登中部保健福祉センター	15	0	2	1	1	7	0	0	4
能登北部保健福祉センター	20	0	0	1	1	13	0	0	5
金沢市福祉健康センター	28	0	5	0	3	13	0	0	7
県外保健所	1	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	129	1	18	8	14	62	1	0	25

イ 関係機関（保健所及び福祉健康センターを除く）

当センターでは市町をはじめ、医療機関や福祉施設、司法機関など、他機関と連携し技術支援を行っている。依存症やひきこもり、自殺対策などメンタルヘルスに関して専門的な立場から、講師として講演や研修を行うほか、会議・打ち合わせへの参加等、広くメンタルヘルスの知識の普及を行っている。

表3 関係機関（保健所等を除く）への技術支援回数

区 分	計	事例検討会	相談・訪問 支援	知識の普及・ 保健活動	会議への 参画	関係機関との 連絡調整	当事者クラブ活 動等の支援	学生教育・ 実習	情報提供・ その他
国 ・ 県	408	0	9	7	70	192	0	0	130
市 町	210	4	33	19	5	106	0	0	43
医 療	117	0	28	3	6	61	0	0	19
福 祉	72	0	5	12	7	27	0	0	21
教 育	40	1	10	3	0	11	0	9	6
労 働	4	0	1	0	1	1	0	0	1
各種精神保健福祉団体	24	0	0	0	4	20	0	0	0
障害者支援施設等	35	0	1	0	7	23	0	0	4
司 法	67	0	10	0	24	29	0	0	4
そ の 他	79	0	3	1	3	36	1	0	35
合 計	1,056	5	100	45	127	506	1	9	263

(2) 教育研修

令和6年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を20回開催した。

ア 精神保健福祉医療担当者研修会

地域における精神保健福祉医療業務が円滑に推進されるように、保健福祉医療関係機関の職員で精神保健福祉の担当として初任者を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に研修を実施した。

日時	内 容	参加数
令和6年7月17日 (水)	講義①「精神障害者に関する基礎知識と支援について ～精神疾患とこころのケア～」 こころの健康センター 所長 角田 雅彦	28 人
	講義②「高次脳機能障害と支援について」 高次脳機能障害相談・支援センター 主任技師 太田 真理子	
	講義③「精神保健福祉センターにおける支援（１）」 こころの健康センター 相談課職員	
	講義④「精神保健福祉センターにおける支援（２）」 こころの健康センター 相談課職員	
	講義⑤「精神保健福祉法における緊急対応について」 障害保健福祉課医療支援グループ 専門員 津田 元	
	講義⑥「発達障害支援センターの活動概要と体制整備について」 発達障害支援センター 支援課長 酒井 伸吾	
令和6年7月26日 (金)	講義①「ひきこもり対策と支援について」 こころの健康センター 主任主事 北瀬 英里	29 人
	講義②・演習「インテーク面接～精神保健における相談援助の基本と留意点～」 こころの健康センター 主任主事 越野 紗矢	
	講義③「県保健福祉センターにおける精神保健福祉の取り組み」 石川中央保健福祉センター 主幹 大矢 紀子	
	講義④「精神科医療機関の役割～地域との連携～」 県立こころの病院 精神保健福祉士 馬木 美里	
	講義⑤「地域活動支援センターにおける取り組み ～精神障害者支援の実際～」 ピアサポートはくさん 主任相談支援専門員 宮野 泰	

イ 石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）研修会（詳細はP51～52参照）

（ア）講義及び机上訓練 開催回数 1回、参加者（机上訓練） 34名

（イ）緊急訓練受講者への追加研修 開催回数 1回、修了者 150名

ウ ひきこもり対策推進事業（詳細はP32～36参照）

ひきこもり相談・支援者研修会 開催回数3回、参加者198人

エ 依存症関連問題指導事業（詳細はP37～40参照）

依存症研修会 開催回数1回 参加人数28人

オ 自殺予防対策推進事業（詳細はP42～44参照）

（ア）包括的支援のための多職種事例検討会 開催なし

（イ）ゲートキーパー指導者研修会 開催回数2回、参加者123人

（ウ）自殺未遂者支援体制整備研修会 開催回数1回、参加者66人

カ 子どもの心のケア推進事業（詳細はP45～49参照）

（ア）子どもの心の支援者研修会

a 子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー

※令和6年度より金沢大学に委託

b 発達障害等早期支援関係者セミナー

開催回数1回、参加者数 51人

（イ）子どもの心のケア勉強会

※令和6年度より金沢大学に委託

（ウ）母子精神事例検討会

開催回数1回、参加者数 18人

キ 災害時のこころのケア関連事業 （詳細は P 5 2 ～ 5 7 参照）

- （ア） こころのケアに関する情報交換会 開催回数 1 回、2 7 名
- （イ） 被災地で働く方のストレスケア研修会 開催回数 1 回、1 4 3 名
- （ウ） 多重災害を経験した地域でのメンタルヘルス支援について
開催回数 1 回、2 9 名
- （エ） ゲートキーパー養成研修（災害時編） 開催回数 1 回、4 6 名
- （オ） 中長期のグリーフケア研修会 開催回数 1 回、4 9 名
- （カ） TF-CBT 研修会 開催回数 1 回、4 7 名

ク 精神障害者地域生活支援事業 （詳細は P 5 0 参照）

- 心のサポーター養成研修 ※令和 6 年度より新規開催
開催回数 1 回、受講者 1 0 2 名、修了者 1 0 0 名

(3) 普及啓発

一般県民等を対象として、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「こころの健康センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発を実施した。また、災害時のこころのケアについてリーフレットやチラシの作成、ホームページの作成を行った。

ア 公開講演会

(ア) こころの健康づくり講演会（自殺予防対策推進事業（P42）に掲載）

(イ) ひきこもり公開講演会（ひきこもり対策推進事業（P36）に掲載）

(ウ) アディクション関連問題公開講演会（依存症関連問題指導事業（P38）に掲載）

(エ) 県民フォーラム いしかわこころのわ（災害時の心のケア関連事業（P57）に掲載）

イ 講師を派遣した講演会

	依頼機関名	内 容	回数	参加人数
県	石川県障害保健福祉課	精神障害者支援の障害特性と支援技法について	1	48
	石川県少子化対策監室	青少年健全育成研修	1	16
	石川県総務課人権推進室	出前人権講座「災害とこころのケア」	1	40
	石川県自治研修センター	新任課長補佐研修	1	120
	石川県自治研修センター	新任課長研修（職場のメンタルヘルス）	1	80
	石川県自治研修センター	新任係長研修	1	140
	石川県市町村職員研修所	新任課長補佐研修	2	81
	石川県消防学校	メンタルヘルスについて	2	73
	石川県競馬事業局	ギャンブル等依存症について	1	7
	石川中央保健福祉センター	若い世代のいのちを支える研修会	1	20
市町	野々市市福祉総務課	SOS の出し方講座	1	222
	七尾市健康推進課	令和6年度自殺対策に係る相談支援研修会	1	20
	珠洲市健康増進センター	ゲートキーパー養成講座（災害時編） 「自分や大切な人のこころを守るためにできること」	1	38
	富山市	地域精神保健福祉講演会「令和6年能登半島地震と奥能登豪雨で感じた備えと心のつながりの大切さ」	1	40

	依頼機関名	内 容	回数	参加人数
教 育	金沢医科大学	公衆衛生看護学実習	1	11
	石川県立総合看護専門学校	気分障害について/統合失調症について	2	20
国	金沢弁護士会	弁護士が知っておくべき自殺対策～こころに寄り添う支援のために～	1	20
	金沢保護区保護司会	薬物乱用防止指導員研修会	1	35
	加賀保護区保護司会	怒りの感情と上手に付き合うためには？	1	25
そ の 他	石川県医療ソーシャルワーカー協会	医療ソーシャルワーカーのメンタルヘルスケアについて	1	30
	ゆうちょ銀行	ギャンブル依存症対策研修	1	20
	石川県社会福祉協議会	発災後 1 年を迎える被災者に寄り添うには	1	100
	金沢市社協ボランティアセンター	ボランティア講座「アンガーマネジメントについて学ぼう！」	1	16
	子ども夢フォーラム	チャイルドライン受け手講座「気になる子どもたち」	1	10
	日本公認心理師学会	学術集会千葉大会シンポジウム「能登半島地震の支援実践報告」	1	98
計			28	1,330

ウ 障害者ふれあいフェスティバルにおける福祉相談コーナーへの出展

心の健康に関する正しい知識について普及啓発することを目的に、障害者ふれあいフェスティバルにおいて福祉相談コーナーへ出展した。

日 時 令和6年9月29日（火）10:00～16:00

場 所 石川県産業展示館4号館

内 容 メンタルヘルス関係のパネル掲示と、パンフレット・リーフレットの配布、アルコールのパッチテストの実施

エ 普及啓発資料

こころの健康センターの事業の紹介や精神保健の動向について発行した。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/documents/centerdayori95gou.pdf>

媒 体	内 容	発行部数
こころの健康センターだより	第 95 号 特集「アルコールと上手く付き合うために」	5200 部

オ 普及啓発教材の貸出

病院や地域関係機関に DVD、パネル等の貸し出しを行っている。令和 6 年度は依頼がなかった。

カ 関係機関情報の作成

石川県内の精神保健福祉に関する社会資源の情報をまとめ、ホームページに掲載した。
アドレス <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/shiryou.html>

キ 災害時のこころのケアに関する普及啓発 （詳細は P 5 6 参照）

(4) 精神保健福祉相談

当センターでは、心の健康に関する相談や精神疾患の課題、自殺に関連する相談、DVやひきこもりの相談、アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症に関する相談等、精神保健福祉に関する相談支援を行っている。また、保健所や市町など関係機関と連携して支援を行っている。

ア 電話相談

当センターでは、相談課直通電話とこころの相談ダイヤル（24 時間 365 日）で電話相談を行っている。（こころのケアセンター及び支援者サポートダイヤルについては（12）災害時のこころのケア参照）。令和 6 年度の相談件数（延件数）は 8,889 件であった。令和 6 年能登半島地震以降、災害に関する相談が増えており、被災者のメンタルヘルスのケアのニーズが高まっていることがうかがえる。

イ 来所相談

来所相談は、原則として予約制で、相談課職員が対応しており、必要に応じ所長（精神科医）または嘱託医（精神科医・小児科医）の診察を実施している。相談内容に応じて、テキストを用いたワークを行っている。また、若者サポートステーションや市町窓口への同行訪問等ニーズに応じてアウトリーチ支援も行っている。

令和 6 年度の相談件数（延）は 754 件であった。

表 1 精神保健福祉相談実施状況

	男	女	合計
電話相談	3,521	5,368	8,889
来所・訪問（実）	100	75	175
〃（延）	424	330	754

表 2 精神保健福祉相談件数の推移

年度	電話相談	来所・訪問	合計
R2	9,781	1,229 (実 448)	11,010
R3	18,661	1,554 (367)	20,215
R4	22,892	991 (198)	23,883
R5	10,452	738 (175)	11,190
R6	8,889	754 (175)	9,643

※件数は延件数

表3 年齢別相談件数

年齢区分	電話	来所（訪問含む）	合計
～10代	65	94	159
20代	600	133	733
30代	1,024	232	1,256
40代	1,090	142	1,232
50代	2,361	116	2,477
60代	1,546	33	1,579
70代～	298	3	301
不明	1,905	1	1,906
合計	8,889	754	9,643

※件数は延件数

図1 精神保健福祉相談における年齢別内訳

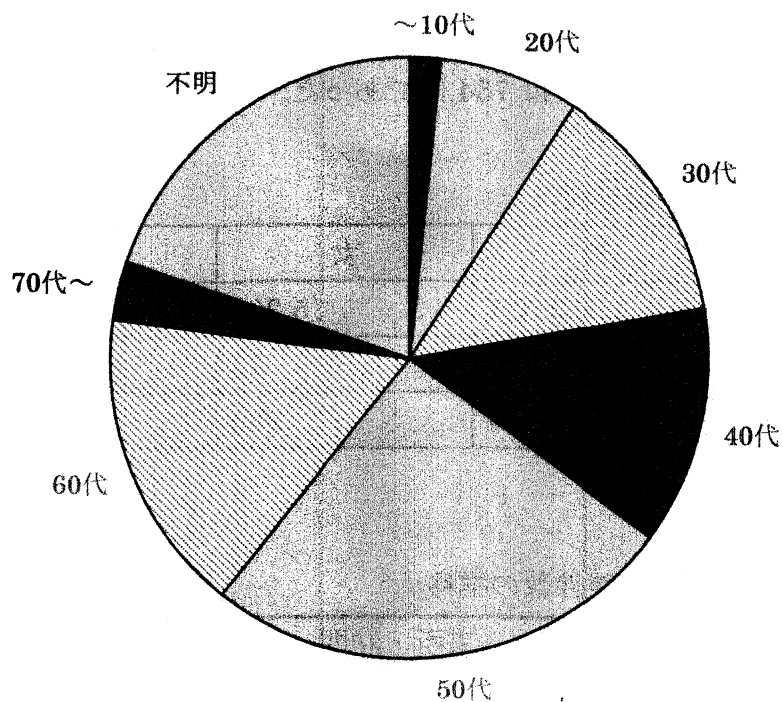


表4 内容別相談件数

相談内容	電話	来所・訪問	合計
経済・貧困問題	165	4	169
不登校・学校生活の悩み	134	50	184
ひきこもり	56	215	271
非行・反社会的問題	7	0	7
暴力（親子・夫婦・その他）	89	99	188
家庭内の問題	1,180	32	1,212
出産・育児上の悩み	45	2	47
更年期の悩み	25	0	25
高齢者の問題	51	1	52
仕事・職場の悩み	979	19	998
身体上の悩み	251	1	252
摂食障害	5	0	5
性格・行動上の悩み	327	51	378
対人関係の悩み	662	1	663
アルコール問題	67	41	108
薬物問題	17	14	31
ギャンブル問題	76	102	178
アルコール・薬物・ギャンブル以外の依存	36	51	87
性についての悩み	33	11	44
日常生活に関する心配・不安	3,091	33	3,124
精神疾患に関する問題	943	11	954
情報提供	134	0	134
その他	516	16	532

※件数は延件数

図 2-1 内容別相談件数

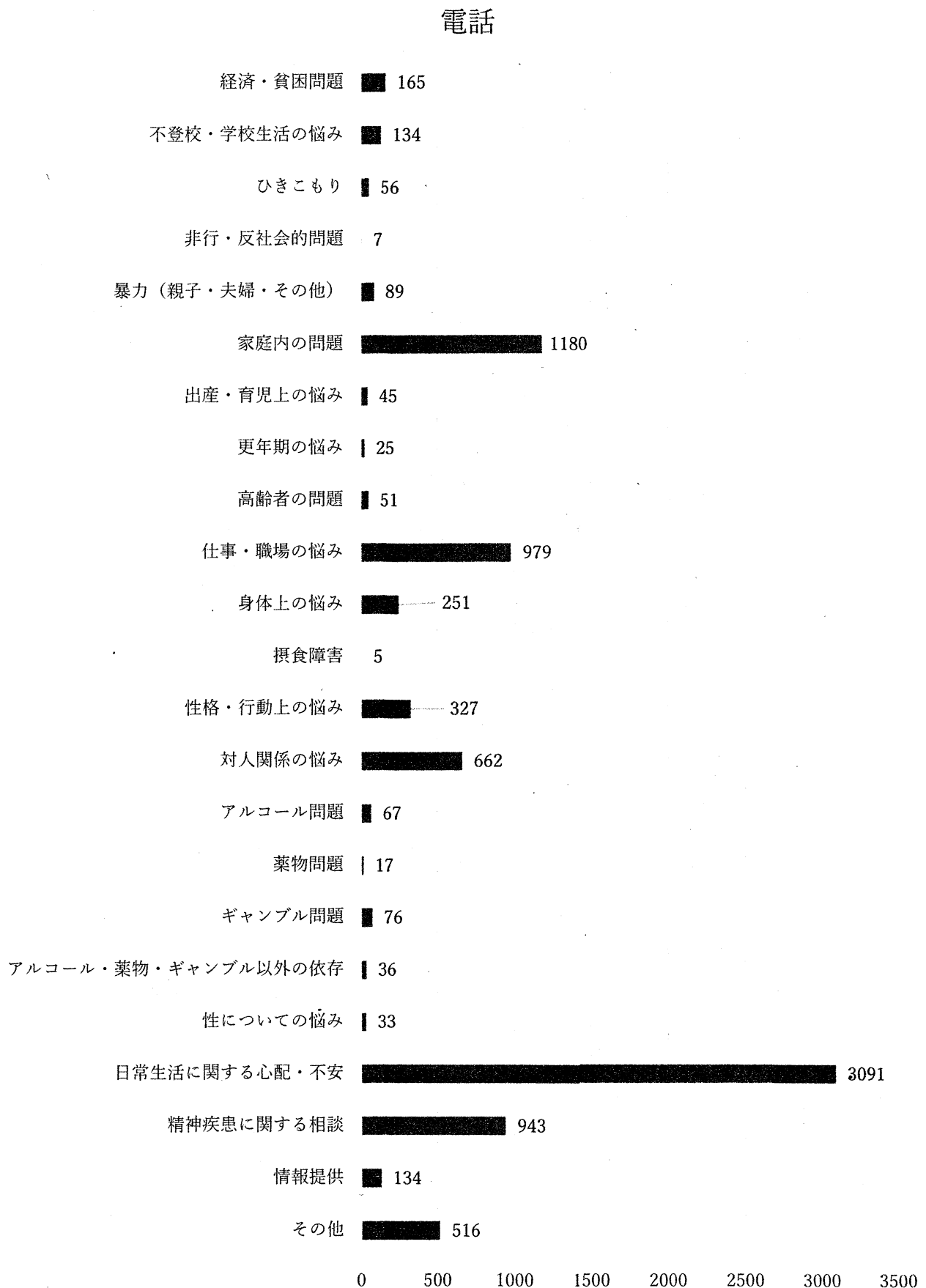


図 2 - 2 内容別相談件数

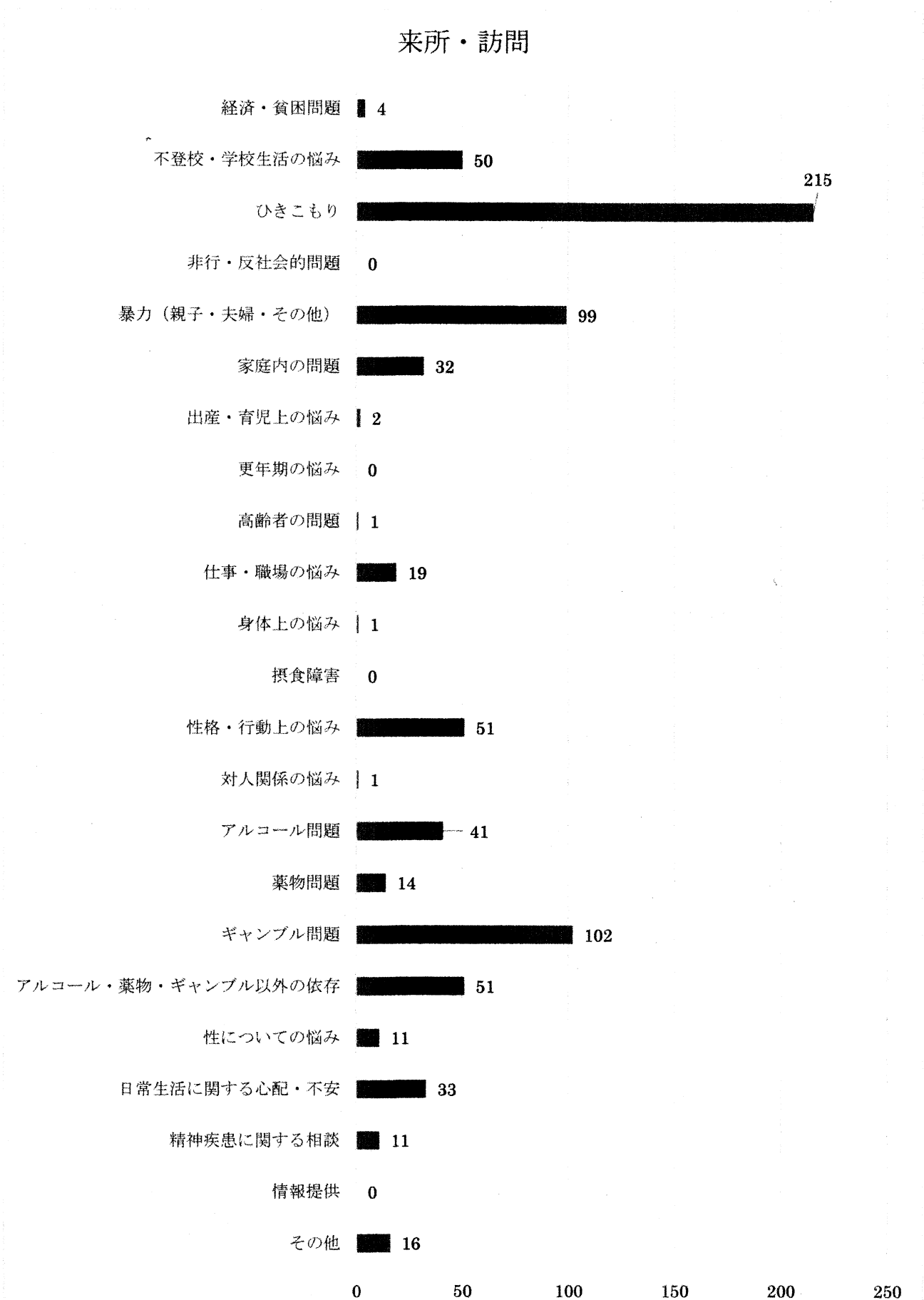


図3 電話相談における対応状況

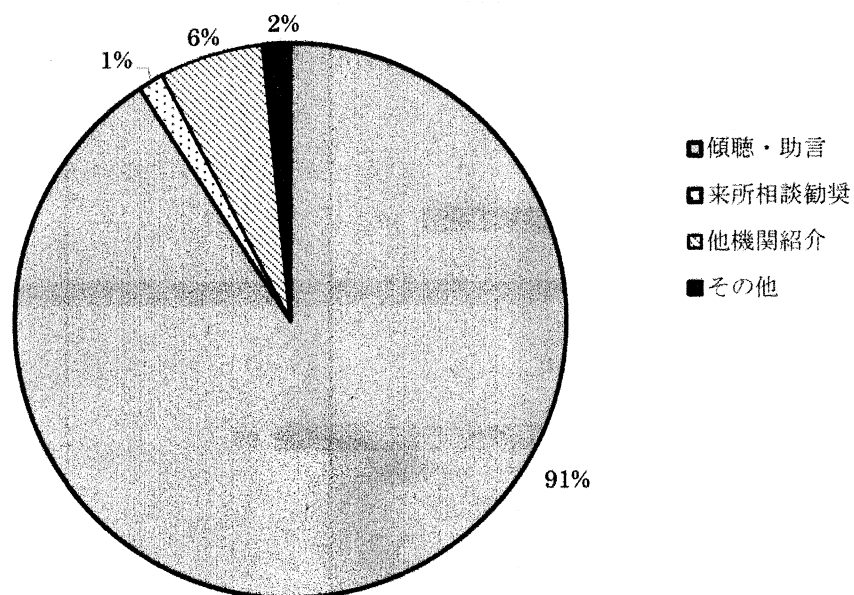


表5 新規来所相談における来所経路

	男	女	合計
直接（ホームページ等含む）	40	33	73
精神科医療機関	1	1	2
一般科医療機関	1	0	1
保健所・保健センター	1	0	1
児童相談所	1	0	1
福祉事務所	0	0	0
児童・民生委員	0	0	0
施設・学校	1	2	3
ハローワーク・地域若者サポートステーション・ジョブカフェ石川	0	0	0
警察	0	0	0
県庁・市町役場	0	7	7
その他の相談機関	2	0	2
こころの相談ダイヤル	0	0	0
その他の電話相談	0	1	1
その他	2	2	4

※件数は実件数

表 6 R6 年度来所者への対応

	延件数
助言・継続面談	662
診察	67
うち診断書発行	5
知能・心理検査	2
訪問（アウトリーチ）	23
合計	754

表 7 来所相談における診断状況

	実件数（うち新規）
F0 症状性を含む器質性精神障害	0 （ 0 ）
F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	5 （ 5 ）
F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	3 （ 2 ）
F3 気分（感情）障害	15 （ 7 ）
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	6 （ 3 ）
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0 （ 0 ）
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	6 （ 4 ）
F7 知的障害（精神遅滞）	6 （ 2 ）
F8 心理的発達の障害	15 （ 4 ）
F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	1 （ 0 ）
G0～ 神経疾患等	0 （ 0 ）
G4 てんかん	0 （ 0 ）
診断保留・不明	118 （ 68 ）
合計	175 （ 95 ）

図 4 診断状況



○ F0 ■ F1 ▨ F2 ▩ F3 ■ F4 ▨ F5 ▨ F6 ▨ F7 ■ F8 ▨ F9 ■ G0～ ▨ G4 ▨ 診断保留・不明

表 8 R6 年度来所相談における関係機関への紹介先

	延件数
福祉事務所	0
福祉事務所以外の市町窓口	8
社会福祉協議会	7
自立相談支援事業実施機関	0
地域包括支援センター	1
児童相談所	0
児童家庭支援センター	0
保健所・保健センター	2
精神保健福祉センター	3
発達障害者支援センター	1
医療機関	5
地域若者サポートステーション	1
ハローワーク	0
企業	2
教育関係機関（学校・教育委員会等）	6
民間支援団体（当事者団体・NPO 法人等）	3
障害者相談支援事業所	1
就労移行支援・就労継続支援 A 型・B 型	0
地域活動支援センター	0
グループホーム	0
障害者職業センター	0
障害者就労・生活支援センター	0
ひきこもり地域支援センター	0
その他	2
合計	42

(5) 組織育成

令和6年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、石川県精神保健福祉家族会連合会、石川県精神障害者支援事業所連絡会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会、石川県精神保健福祉協会、依存症関連自助グループの各団体である。

それぞれに対する支援の回数、参加人数は表1のとおりである。

表1 協力組織への支援

対 象	回 数
石川県精神保健福祉家族会連合会	13
石川県精神障害者支援事業所連絡会	1
石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会	3
石川県精神保健福祉協会	12
依存症関連自助グループ	34
合 計	63

ア 精神障害者家族会

(ア) 石川県精神保健福祉家族会連合会 (石家連)

精神障害者家族会は、昭和48年から石川県内の保健所単位に地域家族会が結成され昭和49年2月に10家族会による連合会が発足した。令和2年4月より名称を石川県精神保健福祉家族会連合会に変更した。病院家族会の参加や地域家族会の統合等により、令和6年度は、9家族会で、会員は90名である。

石家連への支援は、各理事会、精神障害者家族会と行政との懇談会など、計13回の支援を行った。

(イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて助言支援を行っている。

イ 石川県精神障害者支援事業所連絡会

平成5年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、活動を行ってきた。作業所数が大幅に増加したことから、平成8年5月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡会が発足し、月1回の例会等の活動を行っている。令和6年度は、12ヶ所の精神障害者支援事業所が参加している。当センターでは、総会

や定例会の会場提供や出席を通して活動を支援しているが、令和6年度は総会等の開催はなかった。

ウ 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会

昭和63年に当センターでメンタルヘルスボランティア講座が開催され、各グループによる積極的な活動が行われてきた。平成11年に連絡会が開催され、平成13年度には「石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会」が発足。令和6年度には6グループが活動している。当センターでは、総会での会場提供や出席を通して活動を支援しているが、令和6年度は総会等の開催はなかった。

エ 石川県精神保健福祉協会

昭和35年10月に石川県精神衛生協会が結成され、平成3年6月、名称を石川県精神保健協会、平成10年6月に石川県精神保健福祉協会と改めている。令和6年4月1日現在の会員は、個人会員285名、団体会員26団体、特別会員12病院となっている。

表2 精神保健福祉協会への支援

期 日	内 容	対 象	人 数
R6.4.17 ~ R7.3.1 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	民間団体やボランティア団体	3 回 56 人
R6.4.30	表彰審査委員会(オンライン開催)	委員	6 人
R6.5.17	理 事 会 (オンライン開催)	理事、監事	15 人
R7.3.6	〃 (オンライン開催)	〃	13 人
R6.6.29	総 会 精神保健講演会 演題:「子どもの話に耳を澄ませる」～司法 面接の方法を参考に～ (後日、ネットにてオンデマンド配信)	会員、関係者等	24 人
R7.3.8	令和6年度精神保健福祉フォーラム(精神保健 福祉研究会) テーマ「高等学校保健体育科における精神疾 患教育 学校での子どもたちの学び を家庭・地域で支えよう」 特別講演 演題:「高等学校での精神疾患に関する教 育の意義と課題」 パネルディスカッション	関係機関職員、 保健所、一般	39 人
R6.11.26	精神保健福祉家族会と病院長等との懇談会 1部 懇談会 2部 講演会 演題「その人らしい生活と精神看護」	精神保健福祉 家族会、病院 長、県内保健所 職員、その他関 係者	42 人
R6.7.26	産業と精神保健専門委員会研修会 演題:「職場のポジティブメンタルヘルス: ワーク・エンゲイジメントに着目して」 (ハイブリッド開催)	関係機関職員、 一般	52 人
R7.2.16	教育と精神保健専門委員会研修会 演題:「認知を介したネガティブな感情との 距離の取り方」	関係機関職員、 教育関係者、 一般	22 人
R7.2月～3月	会報編集委員会(メール審議)	委員	6 人

計12回、326人(ほかオンデマンド配信視聴者)

オ 依存症関連自助グループ

令和6年度における、当センターが把握している依存症関連自助グループは、アルコール、薬物、ギャンブル、摂食障害、ACなどに関する23グループである。活動に関する周知協力や、情報交換、オープンスピーカーズミーティングへの参加などを通して活動を支援している。

(6) ひきこもり対策推進事業

平成13年4月から、青年期におけるひきこもりや不登校を対象として事業が開始され、平成21年度からは、ひきこもり地域支援センター事業を兼ねて実施している。

地域の保健所や関係機関と連携を図りながら、個別相談や家族交流会、ひきこもり当事者グループ活動、必要に応じて関係機関への訪問等の活動を行った。

また、平成26年度から「ひきこもりサポーター養成研修」を実施し、保健所等への派遣を行っている。令和2年度より、ひきこもり支援に関する研修会や、一般向けの公開講演会を実施している。市町、保健所への技術的な援助として、ひきこもり支援専門職チームの派遣も行った。

ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日は設けず、随時相談に応じている。

表1 ひきこもり相談件数

区 分	延件数
電話相談	73 件
来所相談	242 件
訪問等	6 件
メールへの対応	3 件
合 計	324 件

イ ひきこもり当事者グループ(悠友クラブ) 活動

ひきこもっている若者たちが安心して過ごせる「居場所」を確保し、同じ悩みをもつ仲間との交流体験を通して、孤独感の軽減、対人関係の改善や社会性の向上、ひきこもりや社会不適応からの脱却を図るために実施した。

日 時：毎週木曜日 13：30～15：30

回 数：年50回

内 容：スポーツ、散策、ゲームなど、参加者が話し合いによって決める。

対 象：概ね18歳以上のひきこもり状態の方

参加数：実人数9名（男性9名、女性0名）、延べ185名

ウ ひきこもり家族交流会

ひきこもり問題に悩む家族がその経験や思いを共有することで、孤立感を和らげるとともに、それぞれが抱える問題への対応能力を向上させるために、交流会を開催した。

日 時：年5回、土曜日 13：30～15：30

内 容：講義、話し合い

対 象：当センターで個別相談を継続している家族、及び「ひきこもり家族教室」や「ひきこもり家族交流会」に参加経験のある家族

表2 開催状況

開催日	内容	参加数
令和6年6月15日	「ひきこもりを理解しよう」 講義及び話し合い	3家族3名
令和6年8月17日	「親子間の対話について考える」 講義及び話し合い	5家族5名
令和6年10月19日	「社会とのつながりについて」 情報提供及び話し合い 情報提供①社会資源について 情報提供②障害福祉サービスについて	5家族5名
令和6年12月14日	ひきこもりサポーターによる体験発表	3家族3名
令和7年2月15日	「ポジティブなコミュニケーションスキル について」 講義及び話し合い	3家族3名

エ ひきこもり対策地域ネットワーク会議

ひきこもり支援に関する連携が効果的かつ適切に機能することを目的に、関係機関の取り組みや情報交換を行う連絡会を開催した。

開催日	対象地域	内容	参加数
令和6年8月30日	全県下	事業説明、実践報告、 意見交換	36名
令和7年2月5日	金沢市・石川中央圏域	実践報告、意見交換	20名
令和7年3月12日	全ひきこもり地域支援センター	実践報告、意見交換	4名

オ ひきこもりサポーター養成研修

ひきこもり経験のある当事者や家族が、自らの経験を生かしてひきこもりに悩む当事者や家族の支援をする「ひきこもりサポーター」を養成する。研修終了後、修了証書を交付した。修了者のうち、行政機関や団体等が行う相談や支援等においてひきこもりサポーターとして活動することを希望した者に対し、ひきこもりサポーターとして登録した。

日 時：令和6年7月31日（水）13：00～16：30

内 容：講義①「ひきこもりに関する基礎知識」 講師：当センター所長 角田 雅彦

発表「ひきこもりサポーターの活動について」

講義②「自分の経験や思いを表現する方法」 講師：深谷 敏 氏

グループワーク①「自分の体験談を作ろう」

グループワーク②「自分の体験談を発表しよう」

受講者数及び登録者数：当事者6名、家族1名、計7名。受講者のうち6名が登録。

カ ひきこもりサポーター派遣

保健所等が開催するひきこもり教室等において、ひきこもり家族や支援者がその経験を聞き、対応等を学ぶために、登録したひきこもりサポーター(当事者または家族)を派遣した。(表3)

表3 ひきこもりサポーターの派遣状況

派 遣 先	当事者		家族	
	回数	人数	回数	人数
こころの健康センター	4回	4人	2回	2人
能登中部保健福祉センター	1回	2人	0回	0人
民間支援事業所	0回	0人	1回	1人
計	5回	6人	3回	3人

キ ひきこもりサポーターフォローアップ研修

登録しているひきこもりサポーターを対象に、活動上の不安の解消、実際の活動に関する情報の共有、サポーター同士の繋がり強化を図るために研修会を開催した。

日 時：令和7年3月10日（月） 13：30～15：30

内 容：（1）報告「令和6年度のひきこもりサポーター活動状況について」

（2）グループワーク

資料の読み合わせと話し合い

テーマ①「ひきこもりサポーターとしての話し方・聴き方」

テーマ②「心の境界線を意識して自分と相手を大切にする」

（3）ひきこもりサポーター通信の作成

参加者：当事者サポーター1名、家族サポーター4名。計5名。

ク ひきこもり相談・支援者研修会

ひきこもりの相談対応に必要な知識及び基本的な姿勢について習得し、ひきこもり本人・家族への支援が適切に行える人材を養成するため研修を開催した。

実施日	内容	講師	参加者
令和6年10月23日 14：00～16：00	テーマ「ひきこもり状態にある方の理解と家族心理教育のポイント」 ① 講演 ② 体験発表	① 山口大学大学院 教授 山根 俊恵 氏 ② ひきこもりサポーター	115名
令和6年12月17日 10：30～15：00	テーマ「ひきこもりの対話的支援とオープンダイアログについて」 講演及びワークショップ	筑波大学 名誉教授 斎藤 環 氏	55名
令和7年3月2日 13：30～16：30	① 講演「ひきこもりから考える親子関係～親なき後に備えて今できること～」 ② 音楽ライブ 「ココロの音楽ライブ」	① 一般社団法人 OSD より そいネットワーク 代表理事 馬場 佳子 氏 ② シンガーソングライター 風見 穂香 氏	28名

ケ ひきこもり公開講演会

ひきこもり状態の方の感じている生き辛さや葛藤について正しく理解し、地域として支える姿勢を学ぶことを目的に開催した。

日 時：令和7年1月16日（木）13：30～16：00

テーマ：「不登校・ひきこもりを知ることからはじめませんか？～相手も自分も大切にできる向き合い方～」

講 師：公益社団法人青少年健康センター茗荷谷クラブ 井利 由利 氏

対 象：ひきこもりでお悩みの本人、家族、支援者、民生委員等を含む一般県民

参加者：49名

実施方法：オンライン開催

コ ひきこもり支援専門職チーム派遣事業

令和2年度より精神科医等によるひきこもり支援専門職チームを設置。

地域での処遇困難事例に対しての検討会の実施や、対象者への自宅訪問等による直接的な支援を行う。

令和6年度は、能美市からの依頼で事例検討会を1回実施した。

(7) 依存症関連問題指導事業

ア 特定相談指導

表1 相談指導状況

区 分	来 所 相 談			電話相談	その他 (メール・ 手紙)
	計	男	女		
アルコール問題	41 (9)	3 (1)	38 (8)	67	2
薬 物 問 題	14 (5)	3 (2)	11 (3)	17	0
ギャンブル問題	102 (25)	49 (14)	53 (11)	76	1
アルコール・薬物・ギャンブル以外	51 (8)	42 (6)	9 (2)	36	1
計	208 (47)	97 (23)	111 (24)	196	4

件数は延人数（カッコ内は実人数）

イ 依存症教室

アルコールや薬物、ギャンブル等依存症の当事者、家族、支援者が依存症に対する理解を深め、適切な対応や支援が行えることを目的に依存症教室を開催した。

内容：講義及び参加者からの質疑、講師からの助言

表2 依存症教室の開催状況

開催日	テーマ	講師	参加数（人）
令和6年11月29日	借金問題への対応	九龍橋合同事務所 坂本 大輔氏 (司法書士)	32
令和7年2月7日	ギャンブル問題の現状	NPO 法人 全国ギャンブル依存症 家族の会石川	31
計			63

ウ 依存症研修会（支援者向け研修）

開催日	テーマ	講師	参加数（人）
令和 6 年 12 月 4 日	依存症の話って どう聴くの！？	北陸 HIV 情報センター 西念 奈津江氏 (ソーシャルワーカー)	28
計			28

エ アディクション関連問題公開講演会

開催日	テーマ	講師	参加数（人）
令和 6 年 8 月 31 日	知っておこう！実は身近 な依存症～震災が及ぼす 影響～	医療法人見松会 あきやま病院 福田 貴博氏 (医師)	48
計			48

オ 依存症自助グループ派遣事業

依存症当事者やその家族が、自助グループの活動について詳しく知る機会を設け、グループに安心して繋がることを目的に、依存症自助グループ派遣事業を実施した。

派遣回数：0 回

カ 依存症家族交流会（サンサンの会）

アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族が、適切な理解と対応を学び、同じ立場で分かち合える場として、平成 27 年度から家族交流会を開催している。

対象及び人数：アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族（実 15 人、延 26 人）

内 容：書籍『アルコール・薬物・ギャンブルで悩む家族のための 7 つの対処法
CRAFT』を用い、読み合わせとワーク、分かち合いを行う。

表3 サンサンの会の開催内容

回	テーマ
第1回	コミュニケーションを変える
第2回	座談会
第3回	望ましい行動を増やす
第4回	イネイプリングをやめるとは
第5回	座談会（大雪のため中止）
第6回	あなた自身の生活を豊かにする

キ 依存症再発予防プログラム（いしかわ〜ぷ）

アルコール、薬物依存症の当事者が、回復に向けて具体的かつ効果的に取り組むことを目的として、平成27年度から開始した。令和6年度は、集団プログラムを1クール8回セッションで年3クール開催した。

対 象：アルコールや薬物の使用について困っている本人で、その使用を止めたいと願う者

参加人数：実1人、延べ8人

内 容：テキスト「いしかわ〜ぷ」（ISHIKAWA mental health center Relapse Prevention Program）を使用した集団プログラム

表4 いしかわ〜ぷ各回のテーマ

回	テーマ
第1回	(1) アルコールや薬物が脳に与える影響 (2) 引き金と渴望
第2回	(1) 思考停止法 (2) 外的な引き金と内的な引き金
第3回	(1) 回復の地図 (2) 回復初期によく起こる問題とその解決方法

第4回	自助グループー信頼・正直さ・仲間
第5回	(1) 思考・感情・行動 (2) アルコールについて考える
第6回	(1) 再使用を防ぐためにーその1ー (2) 再使用を防ぐためにーその2ー
第7回	再使用を防ぐためにーその3ー
第8回	強くなるより賢くなろう

(8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成13年10月の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)の施行に先立ち、平成13年4月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

ア DV相談件数

表1 DV個別相談件数

区 分		計	電 話 相 談	来 所 相 談
DVに関する相談件数		170件	91件	79件(16)
相談者内訳	男 性	90件	15件	75件(13)
	女 性	37件	37件	0件(0)
	男性の家族等	36件	32件	4件(3)
	女性の家族等	3件	3件	0件(0)
	そ の 他	4件	4件	0件(0)

※ () は実件数

(9) 自殺予防対策推進事業

ア 自殺予防に向けた普及啓発の充実

(ア) 講演会

日 時 令和6年10月26日(土) 14:00～17:00

講 師 高橋 聡美 氏

(一般社団法人高橋聡美研究室 代表、中央大学人文科学研究所 客員研究員)

内 容 講演「生きづらさを抱えた人に寄り添うために

～私たちにできることとセルフケア～」

参加者 一般県民 67人

イ 自殺予防のための相談・支援の充実

(ア) 民間団体との連携会議

自殺予防週間や月間事業の一環として、かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ(以下の民間団体:石川県宗教連盟、NPO 法人ささえる絆ネットワーク北陸、NPO 法人金沢あすなろ会、NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク石川、公益社団法人金沢こころの電話、子ども夢フォーラム、一般財団法人メンタルケア協会石川事務所、ひまわりの会、金沢ほっとの会)と県が連携し、自殺対策に向けて事業の計画検討や情報交換を行った。

回数	日時	内 容	団体数及び参加数
1回	6月6日	こころの健康づくり講演会の事業計画検討	7団体 12人
2回	7月8日		5団体 10人
3回	8月2日		6団体 11人
4回	1月27日		6団体 10人
5回	3月13日		5団体 10人

(イ) 包括的支援のための多職種事例検討会

平成26年度から自殺のさまざまな要因に関連が深い分野の専門家や支援者等多くの職種が、事例を通して支援のあり方を共有し連携して支援する仕組みを例年検討していたが、令和6年度は実施しなかった。

ウ こころの健康づくりと早期発見・治療の促進

(ア) ゲートキーパー養成等事業

地域の中で悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげるゲートキーパーの役割を担う人を育成し、自殺予防につなげることを目的とする。

a ゲートキーパー指導者研修会

地域において、自殺防止対策のリーダーとして活動できる人材を養成するとともに、これまで養成したゲートキーパーリーダーの更なる資質の向上のため研修会を開催した。令和6年度からは、内容によって2回に分けて実施した。

日 時：

第1回〈子ども・学生編〉令和6年8月 1日（木）10：30～12：00

第2回〈大人・高齢者編〉令和6年8月23日（金）10：30～12：00

講 師：こころの健康センター所長・精神科医 角田 雅彦

内 容：講演「ゲートキーパー指導者にとって大切なこと」

センター職員からの説明

参加者：行政機関の自殺対策担当者、生活困窮者自立支援担当者、

教育関係機関の担当者、他関係機関の担当者 延べ123人

b ゲートキーパー出前講座（※）

講 師：こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）

実 施：9か所 対象者計：824名

※「(3) 普及啓発 イ 講師を派遣した講演会」に詳細を記載

(イ) 若い世代のこころの健康づくり事業

高校生や専門学校生等を対象にした自殺予防のためのこころの健康教育、ゲートキーパー研修等を実施した。

実施日	対象	参加数
令和6年6月5日	石川県立総合看護専門学校（学生）	10人
令和6年6月12日	石川県立総合看護専門学校（学生）	10人
令和6年10月22日	金沢医科大学（学生）	11人

エ 自殺未遂者へのケアと再発防止対策の構築

例年、自殺未遂者の再企図の防止や、自殺未遂者の心理面に配慮した対応の理解と普及を目的に、精神科医療や地域の支援につなぐための連携や体制の構築に向けた研修や事例検討会等を実施している。

(ア) 自殺未遂者支援体制整備研修会

日 時：令和7年2月19日（水）18:00～20:30

内 容：講演「自然災害後の自殺予防－能登半島地震を踏まえて－」及び意見交換
（講師：筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学 教授 太刀川 弘和 氏）

参加者：医療機関（救急・精神科）、消防、警察、教育、行政機関の担当者 66人

(イ) 救急隊員に対する研修（技術支援）

実施機関	内 容	人 数
石川県消防学校	令和6年6月17日 「メンタルヘルス（サービスと勤務）」 対象者：消防新任職員	55人
	令和7年1月7日 「人事管理（惨事ストレス）」 対象者：消防幹部職員	18人

オ 遺族等へのケアと支援施策の充実強化

(ア) 自死遺族交流会（J交流会）

家族を自死（自殺）で亡くした方達が、苦しい気持ちの語り合いや傾聴、互いを支え合う場として、平成18年11月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時：奇数月（原則）第1土曜日 14:00～16:00

場 所：金沢市内

回 数：6回

参加数：実11人 延べ32人

(10) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題が社会的課題となっているが、子どもの心の問題の診療を担う医師が少なく、保護者はもとより保育所や学校等においてもその対応に苦慮している現状がある。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な発達への支援と、地域で安心して継続的な相談ができる体制の構築を目的として、平成20年度から「いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業」を開始し、平成24年度からは「子どもの心のケア推進事業」として事業を行っている。令和6年度より事業の一部を金沢大学に委託した。

ア 子ども心のケア相談事業

電話や来所面接による個別相談を通じ、子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援を受けられる機関を紹介するなどコーディネート機能を実施した。

(ア) 電話相談実績

表1 電話相談件数と相談者の内訳

年代	延件数	相談者内訳		
		父	母	その他(**)
幼 児	6	1	5	0
小学生	56	2	47	7
中学生	52	7	37	8
高校生	99	12	55	32
その他(*)	6	0	1	5
計	219	22	145	52

その他(*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他(**) : 本人、祖父母、学校等

表2 電話相談内容(延)

	経済・貧困 問題	不登校 ひきこもり	非行 暴力	家庭内 の問題	出産・育児 上の悩み	身体上 の悩み	摂食障害	性格・行動 上の悩み	対人関係 の悩み	依存関係	性について の悩み	日常生活 の不安	病気の不安等	情報提供 その他	計
幼 児	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
小 学 生	0	40	1	3	4	0	0	3	0	1	0	1	2	1	56
中 学 生	1	33	0	1	3	1	0	1	1	3	0	2	3	3	52
高 校 生	0	60	6	7	2	0	0	5	3	6	1	1	2	6	99
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	6
計	1	133	8	11	14	1	0	9	7	10	1	6	8	10	219

(イ) 来所相談

表3 来所相談件数と相談者内訳

年代	実件数	延件数 (***)	相談者内訳				
			父	母	父母両方	本人	その他(**)
幼 児	0	0	0	0	0	0	0
小学生	6	13	0	16	2	11	1
中学生	7	18	7	6	5	20	2
高校生	10	31	0	15	2	32	1
その他 (*)	0	0	0	0	0	0	0
計	23	62	7	37	9	63	4

その他 (*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者、 その他 (**) : 祖父母、学校等
 延件数 (***) : 来所回数で計上。(母と子の相談対応を同時に行った場合、延1件と計上。) 相談者内訳
 が、実際に相談対応した人数となる。

表4 来所相談内容 (実件数内訳)

	経済・貧困 問題	不登校 ひきこもり	非行 暴力	家庭内 の問題	出産・育児 上の悩み	身体上 の悩み	摂食障害	性格・行動 上の悩み	対人関係 の悩み	依存関係	性について の悩み	日常生活 の不安	病気の不安等	情報提供 その他	計
幼 児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 学 生	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
中 学 生	0	5	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7
高 校 生	0	3	0	1	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	10
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	14	0	2	0	0	0	5	0	1	0	0	0	1	23

表5 来所相談の経路（実件数内訳）

	直接	県庁・市町村からの紹介	学校からの紹介	その他	年代別計
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	5	1	0	0	6
中学生	3	2	2	0	7
高校生	4	1	3	2	10
その他（*）	0	0	0	0	0
計	12	4	5	2	23

その他（*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表6 来所相談の処遇状況及び他機関との連携状況（実件数内訳）

	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介（病院等）	年代別計
幼 児	0	0	0	0
小学生	4	2	0	6
中学生	2	4	0	6
高校生	7	4	0	11
その他（*）	0	0	0	0
計	13	10	0	23

その他（*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

イ 子どもの心の支援者研修会

（ア）子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー

※令和6年度より金沢大学に委託

目 的：医療、教育、保健、福祉等、子どもの心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

(イ) 発達障害等早期支援関係者セミナー

目 的：幼児・小学校低学年の発達障害等の支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

参集者：医師（幼児健康診査担当医師・学校医等）、看護師等、保健・教育・福祉関係者

日 時：令和7年1月19日（日）10：00～11：30

開催方法：Zoomを利用したオンライン開催

参加人数：51人

講 師：鳥取県立総合療育センター

小枝 達也 氏

(ウ) 母子精神事例検討会

日 時：令和6年12月18日（水）13：30～15：00

開催方法：現地

参加人数：18人

ファシリテーター：西念 奈津江 氏

ウ 子どもの心のケア勉強会

※令和6年度より金沢大学に委託

目 的：かかりつけの小児科医や内科医を初めとした、普段から子どもと関わる関係者が子どもの心のケアを学ぶ場とする。また、勉強会の参加により平時から顔の見える関係をもつことで、地域連携の基盤をつくる。

エ 中央で開催された高度な研修・会議への参加

(ア) 子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議

<第1回>

日 時：令和6年7月5日（金）

開催方法：オンライン

<第2回>

日 時：令和7年1月31日（金）

開催方法：現地と Zoom を利用したハイブリッド開催

(イ) 子どもの心の診療ネットワーク事業 中央拠点病院主催 研修会

テーマ：ACEs とトラウマインフォームドアプローチ

日 時：令和6年9月6日（金）

開催方法：オンライン

オ 普及啓発

(ア) 子どもの心の診療・相談機関情報ガイド

子どもの心の問題に対応している精神科・心療内科・小児科等標榜医療機関及び相談機関の情報を収集し、小冊子を発刊し周知を図っている。令和3年度に内容を大きく見直し、第3版を発行した。令和4年度には、掲載機関のうち病院の改訂を行った。

(イ) 子どもの心の診療機関MAP

子どもの心の診療ネットワーク事業中央拠点病院事務局（国立成育医療研究センターこころの診療部内）が作成し、ホームページに掲載しているもの。県内の精神科及び小児科の各医療機関の診療情報を掲載するため、各々の機関に協力依頼を行っている。

令和3年度に上記情報ガイド改訂と併せて新規掲載の依頼と掲載内容の見直しを行い、その後は医療機関からの申し出があった際に、修正を行っている。

(11) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人、及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人への退院促進を図ることを目的とする。また、障害保健福祉圏域ごとの精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの整備に資する取組を推進することを目的とする。

ア ピアサポーターの活動支援・派遣

相談支援事業所等との連携・依頼により、登録しているピアサポーターを派遣し、病気のことや地域での生活状況等体験談を当事者に語ってもらい、当事者についての理解促進を図った。

(ア) ピアサポーターの新規登録人数：3人

(イ) ピアサポーターの派遣回数及び人数

活動内容等	回数	人数
家族教室に参加。各々の体験談を話したり、家族や医療スタッフとグループワークを行う。	1回	3人

イ 心のサポーター養成研修

令和6年度より新規事業として開催。

目的：メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識と理解を持ち、地域や職域でメンタルヘルスの問題を抱える人や家族等に対して、傾聴を中心とした支援ができる心のサポーター（通称：ここサポ）を養成し、地域における普及啓発を推進する。

対象者：県内各市町の保健・障害福祉・高齢者支援等の担当課職員、金沢市各福祉健康センター及び県各保健福祉センター、石川県社会福祉協議会及び各市町社会福祉協議会等の関係職員、県健康福祉部各課職員 等

日時：令和6年11月1日（金）9：30～11：45

開催方法：Webex を利用したオンライン開催

講師：(福)長久福祉会 施設長 岩尾 貴氏

参加者：102名、修了者：100名

(12) 災害時のこころのケア

災害時には被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大する。それに備えて、災害派遣精神医療チーム（DPAT）の養成を行っている。

加えて、令和6年能登半島地震の発生により、被災者や支援者に対する心のケアを目的とした石川こころのケアセンターが発足した。

ア 石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）研修会

石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）として活動する精神科医療機関の従事者を対象に、平時から、必要な知識や活動手法やケア技術、情報伝達等の訓練により、それらを習得し、災害発生に備えた精神医療の活動体制を構築することを目的に研修会を実施した。

(ア) 石川DPAT研修・机上訓練

(1) 講義（動画視聴）

実施期間：令和6年9月～10月中旬

内 容：12項目、約332分

内容	講師
I (1) 災害医療概論とDPATの活動理念 (2) DPATのTTT	福井大学医学部精神医学 大森 一郎 氏 (DPAT インストラクター)
II 県内の各種体制について (1) 石川県の防災計画 (2) 石川県の精神保健医療提供体制	石川県危機対策課 石川県障害保健福祉課
III DMATと災害医療コーディネーター	石川県立中央病院救急救命センター長 明星 康裕 氏 (DMAT 統括者)
IV (1) 熊本地震におけるDPAT活動を通して感じたこと (2) 令和6年能登半島地震での活動を通して感じたこと(自県発災時の災害支援活動)	石川県立こころの病院診療部医長 神川 繁利 氏 (DPAT 先遣隊) 石川県立こころの病院看護師 池田 隆義 氏 (DPAT インストラクター)
V (1) 「ロジスティクス概論」 (2) 「災害時の情報管理」	静岡県立こころの医療センター 岡庭 隆門 氏 (DPAT インストラクター)
VI 災害医療情報支援システム (EMIS、J-SPEED 等)	
VII (1) 「DPATの被災病院支援」 (2) 「DPATの地域支援」による研修	福井大学医学部精神医学 大森 一郎 氏 (DPAT インストラクター)

※動画視聴は県内の精神医療保健福祉関係者に広く案内した。机上訓練に参加できるのは、石川DPAT指定医療機関の者で、視聴確認テストを提出した者とした。

(2) 机上訓練

日 時：令和6年11月3日（日）12：00～17：00

会 場：石川県立こころの病院

参加者：34名

内 容：DPAT活動拠点本部活動、地域支援DPAT活動、病院支援DPAT活動のロールプレイを実施。

指導者：DPATインストラクター 大森 一郎 氏、岡庭 隆門 氏、池田 隆義 氏
プレインストラクター 山根 太陽 氏

(イ) 石川DPAT緊急訓練受講者（みなし認定者）の追加研修

令和6年能登半島地震では、発災当初から県外のDPAT先遣隊に多くの支援を受けたが、活動を継続するため石川県内のDPAT隊員を早急に増員する必要があり、令和5年度に緊急訓練を2回実施した。今年度、緊急訓練受講者に対して、動画視聴及び確認テストを実施した。

実施期間：7月中旬～8月末

イーラーニング修了者：150名

(ウ) 石川DPAT活動振り返り会

能登半島地震及び奥能登豪雨での活動についての課題整理や意見交換を実施した。

日 時：令和6年12月22日（日）13：30～16：30

参加者：115名

イ 石川こころのケアセンター

令和6年1月1日に発生した能登半島地震を受け、県民の被災後のこころのケアを行う中核として、石川こころのケアセンターを設置した。

(ア) 活動の変遷

令和6年1月22日 石川こころのケアセンターを設置し、専門職が対応する電話相談事業として被災者相談ダイヤル（フリーダイヤル）開始

令和6年 3月 1日 支援者サポートダイヤル（フリーダイヤル）開始

令和6年7月 1日 石川こころのケアセンター金沢開設（委託事業）

令和7年2月25日 石川こころのケアセンター奥能登開設（委託事業）

（イ）電話相談実績

総件数 598件（令和6年4月～令和7年3月）

（ウ）人材育成事業

①北海道厚真町の発災からこれまでのこころのケアの取り組み

日時：令和6年8月26日（月）14：00～15：30

開催方法：オンライン

内容：1）講演「厚真町の発災からこれまでのこころのケアの取り組み」

講師：北海道厚真町住民課健康推進グループ 保健師 笹森 あゆみ 氏

臨床心理士 杉山 効平 氏

東北学院大学地域総合学部

准教授 定池 祐季 氏

2）質疑応答・意見交換

参加者：27名

②ゲートキーパー養成講座（災害時編）

日時：令和6年10月3日（木）10：00～11：30

開催方法：オンライン

内容：1）講演「ゲートキーパー養成研修 ～かけがえのない命を守るために～」

講師：石川県こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医）

2）質疑応答

参加者：46名

③被災地で働く方の心のケア研修会

日時：令和6年10月10日（木）11：30～12：00

開催方法：オンライン

内容：講演「被災地で働く方のストレスケア」

講師：福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座

准教授 瀬藤 乃理子 氏

参加者：143名（当日56名/オンデマンド参加87名）

④TF-CBT(Trauma-Focused Cognitive Behavioral Therapy)研修会

日時：令和6年12月14日（土）～15日（日）

開催方法：集合研修

内容：TF-CBT の Introductory Training

講師：岩手医科大学医学部神経精神科学講座 教授 / 岩手医科大学附属病院

児童精神科 診療科部長 / いわてこどもケアセンター 副センター長

八木 淳子氏

同病院 小川 香織 氏、響 江吏子 氏

参加者：47名

⑤多重災害を経験した地域でのメンタルヘルス支援について

日時：令和6年10月31日（木）10：00～12：00

開催方法：オンライン

内容：1) 講演「多重災害が起きた時、震災被害を受けた地域は何を感じ、どういうことが起きるか。その中で何をどう支援するのか」

講師：みやぎ心のケアセンター 片柳 光昭氏（公認心理師）

2) 情報交換

参加者：29名

⑥依存症研修会（再掲）

日時：令和6年12月4日（水）14：00～16：30

開催方法：オンライン

内容：1) 講演「依存症の話ってどう聴くの!？」

講師：西念 奈津江 氏（北陸 HIV 情報センター ソーシャルワーカー）

2) わかちあい（グループワーク）

3) 質疑応答

参加者数：28名

⑦中長期のグリーフケア研修会

日時：令和6年12月19日（木）10：00～11：30

開催方法：オンライン

内容：1) 講演「中長期のグリーフケアについて関わり方や声のかけ方について」

講師：神戸赤十字病院 心療内科部長 村上 典子 氏

2) 質疑応答

参加者：49名

(エ) 普及啓発事業

①借金問題への対応（再掲）

講師：坂本 大輔 氏（九龍橋合同事務所 司法書士）

開催日：令和6年11月29日（金）14：00～16：00

参加人数：32名

②ギャンブル問題の現状（再掲）

講師：NPO 法人 全国ギャンブル依存症家族の会石川

開催日：令和7年2月7日（金）14：00～16：00

参加人数：31名

③パンフレット：震災から1年を経過するときに気を付けたいこと（子ども編・大人編）、

動画：被災地で働く方のストレスケア ～支援者が今を乗り切るための留意点～（ホームページに掲載）

(オ) 公開講演会

①アクション関連問題公開講演会（再掲）

日時：令和6年8月31日（土）14：00～16：00

開催方法：オンライン

内容：講演「知っておこう！実は身近な依存症～震災が及ぼす影響～」

講師：福田 貴博 氏（医療法人見松会 あきやま病院）

参加者：48名

②県民フォーラム いしかわこころのわ

日時：令和7年1月12日（日）13：30～16：30

開催方法：ハイブリッド開催

内容：石川県のメンタルヘルスのこれからを考える

司会進行：石川こころのケアセンター所長 菊知 充 氏

1) 基調講演「災害後の心の動き」

講師：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 名誉所長 金 吉晴 氏

2) 話題提供① 「多重災害を経験した地域の復興へのみちのり」

講師：みやぎ心のケアセンター 片柳 光昭 氏

3) 話題提供② 「石川県の子どもたちのメンタルヘルスを考える」

講師：東京医科大学精神医学分野 准教授 榊屋 二郎 氏

4) 質疑応答・意見交換

参加者：97名（会場22名、オンライン75名）

3 支援課（発達障害支援センター）業務

（１）発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で１～数回の相談で終了する「相談支援」、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して支援する「発達支援」、就労に関して支援する「就労支援」を行っている。

※支援は「相談支援」から始まり、支援計画を立てて、継続的支援である「発達支援」「就労支援」に切り替える。

表１ 年齢別（実人数）

区 分	相談支援	発達支援	就労支援
0～3 歳	15	11	0
4～6 歳	24	174	0
7～12 歳(小学生)	67	106	0
13～15 歳(中学生)	49	39	0
16～18 歳(高校生)	35	23	0
19～29 歳	83	34	8
30～39 歳	48	16	19
40～49 歳	50	7	7
50 歳～64 歳	33	7	3
65 歳以上	5	1	0
不明	53	0	0
合計	462 人	418 人	37 人

表２ 相談支援の主な相談内容

相談の対象となっている者（児）が発達障害かどうか知りたい	139
現在の生活に関することや家庭で家族ができることを知りたい	236
利用できる制度について知りたい	63
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	189
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	76
進路や将来の生活に関する相談をしたい	55
対応困難な状況の改善について相談したい	37
今後の就労について相談したい	54
現在勤めている職場に関する相談をしたい	45
その他	104

※相談対象者の、その年度の相談内容を計上

※年度途中で随時追加（重複可）

表3 相談方法

区分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	302	0	708	68	1,078
発達支援	284	4,585	233	12	5,114
就労支援	214	13	74	8	309
合計	800	4,598	1,015	88	6,501

※その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害	91	169	24	284
注意欠陥多動性障害(ADHD)	64	25	8	97
学習障害(LD)	10	7	0	17
発達性協調運動障害	0	2	0	2
トゥレット症候群	0	0	0	0
吃音	1	2	0	3
上記以外の発達障害(疑い、傾向、グレー)	49	17	1	67
発達障害に加え知的障害を伴う場合	17	49	7	73
その他(知的障害のみの場合や、精神疾患)	86	74	8	168
不明(未診断含む)	225	100	0	325

※複数診断の場合、重複可

表5 初回相談時の相談依頼者

区分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本人	125	33	32	190
家族	288	385	3	676
関係機関	39	0	2	41
その他	10	0	0	10
合計	462	418	37	917

表 6 今年度の主な連携先の機関

区分	相談支援	発達支援	就労支援
保育所	1	0	0
児童養護施設	1	0	0
障害児通所支援事業所 (児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所等)	1	0	0
小学校	0	2	0
中学校	2	0	0
高等学校	1	0	0
特別支援学校	1	0	0
大学・大学院	1	0	0
教育委員会	2	0	0
相談支援事業所	19	14	17
就労移行支援事業所	3	4	2
障害者就業・生活支援センター	0	0	1
地域若者サポートステーション	4	0	0
地域活動支援センター	0	1	0
共同生活援助事業所(グループホーム)	2	4	0
医療機関	43	22	10
都道府県庁	3	0	0
市町村役場(福祉事務所)	5	0	1
保健所・保健センター	2	0	0
精神保健福祉センター	7	0	0
児童相談所	8	0	0
公共職業安定所	2	0	2
地域障害者職業センター	2	0	0
企業等	2	0	3
上記の項目にない行政機関	2	0	0
その他(どの項目にもあてはまらないもの)	22	0	2

(参考) 年度別各支援件数の推移

年度	相談支援	発達支援	就労支援	計
R2	854(451)	2,398(204)	554(53)	3,806(708)
R3	981(467)	4,653(346)	568(48)	6,202(861)
R4	943(450)	4,766(388)	545(40)	6,254(878)
R5	961(460)	4,332(355)	279(36)	5,572(851)
R6	1,078(462)	5,114(418)	309(37)	6,501(917)

※ () は内数で実人員

(2) 精神科医による相談事業

嘱託の精神科医による相談を月1回実施している。相談後の支援としては、センターによる継続相談支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施している。

相談事業結果

実施回数		9 回
実施件数		11 件
年齢別	0～3 歳	0
	4～6 歳	0
	小学生	0
	中学生	0
	16～18 歳	0
	19 歳以上	11
	合 計	11 件
診察結果	経過観察(診断保留)	1
	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害	3
	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害・ADHD	3
	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害・ADHD・その他	1
	ADHD	0
	学習障害(LD)	1
	発達性協調運動障害	0
	トゥレット症候群	0
	吃音	0
	上記以外の発達障害(疑い、傾向、グレー)	1
	発達障害に加え知的障害を伴う場合	0
	その他(知的障害のみの場合や、精神疾患)	2
	障害なし	0
	合計	11 件
支援内容	相談終了	1
	センターで継続支援	7
	他の機関紹介	2
	その他	1

※ADHD：注意欠陥多動性障害

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、週 1 回午前 10 時から午後 3 時まで、青年期の当事者を対象としたグループ活動を実施している。令和 5 年度より、対象者がいないため休止中。

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、月 1 回午後 7 時から 8 時半まで、就労者の当事者を対象としたグループ活動を実施している。令和 5 年度より、対象者がいないため休止中。

(5) 親のつどい

平成 19 年 10 月より、月 1 回午後 1 時半から 3 時半まで、青年期にある当事者の保護者を対象として実施している。

平成 21 年 12 月より、月 1 回実施していた学齢期にある当事者の保護者を対象とした親のつどいは、令和元年より休止中。

表 1 実施状況

区 分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	12 回	4 組	23 人	ピアカウンセリング、話し合い等

(6) 関係機関等との調整会議

表 1 開催状況

内容	発達障害 全般	療育	医療	教育	保健	福祉	就労	自立 支援	その他	合計
回数	1	3	0	0	0	11	3	0	0	18 回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児（者）への関わり方等についての助言を実施している。

※令和6年度より、電話での助言は機関コンサルテーションに計上していない。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	1	1
	中 学 校	0	0
	高 等 学 校	0	0
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	0	0
	県 教 育 委 員 会	0	0
	障 害 者 職 業 セ ン タ ー	0	0
	障害福祉サービス多機能型事業所	0	0
	相 談 支 援 事 業 所	3	4
	就 労 移 行 支 援 事 業 所	1	1
	就 労 継 続 支 援 事 業 所	0	0
	公 共 職 業 安 定 所	0	0
	市 町	0	0
	放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	2	4
	医 療 機 関	0	0
	児 童 相 談 所	0	0
	企 業	1	1
	そ の 他	0	0
	合 計	8ヵ所	11件
支援内容 (重複可)	障 害 特 性 の 理 解		2
	指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言		8
	心 理 査 定		0
	事 例 検 討		4
	研 修 会		0
	そ の 他		1

(8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児（者）に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区 分	実人数	延件数
0～3 歳	0	0
4～6 歳	0	0
7～12 歳(小学生)	0	0
13～15 歳(中学生)	1	1
16～18 歳(高校生)	1	1
19～29 歳	5	10
30～39 歳	3	3
40～49 歳	2	5
50 歳～64 歳	1	3
65 歳以上	0	0
不明	0	0
合計	13 人	23 件

表2 障害種別 ※重複可

区 分	実人数
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害	5
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害 に加え知的障害を伴う場合	3
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害 に加え、精神疾患を伴う場合	2
注意欠陥多動性障害(ADHD)	1
ADHD に加え、自閉症、アスペルガー症候 群、広汎性発達障害を伴う場合	1
ADHD に加え、精神疾患を伴う場合	1
学習障害(LD)	0
発達性協調運動障害	0
トゥレット症候群、吃音	0
不明(未診断)	0
合計	13 人

表3 会議テーマ

内容	開催回数
家庭生活	1
健康・医療	2
教育	1
福祉	0
療育支援	0
進路相談	0
自立支援	4
就労支援	14
その他	1
合計	23 回

(9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

令和4年度から研修体系を変更して実施。

表1 研修会及び公開講演会の開催状況

研修名	令和6年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎研修）
月 日 場 所	令和6年6月25日（金）11:00～16:15 石川県庁 1102会議室
内 容 講 師	研修Ⅰ－① 講演「発達障害者支援法について」 講師：石川県障害保健福祉課 主事 若林 彩乃
	研修Ⅰ－② 講演「発達障害のある人への相談支援」 講師：石川県発達障害支援センター 支援課長 酒井 伸吾
	研修Ⅰ－③ 講演「発達障害とは」 講師：やすもと医院院長 精神科医 安本 真由美 氏
参加者	行政、保健、福祉、教育、労働、相談支援事業所等の関係機関で、初めて相談業務に携わる方もしくは発達障害に関する研修会に参加したことのない方 51人
月 日 場 所	令和7年3月15日（土）14:00～16:30 石川県地場産業振興センター本館2階 第1研修室
内 容	研修Ⅱ 講演「読み書き障害の理解とその支援について ～学齢期から大人まで～」
講 師	北陸大学 国際コミュニケーション学部心理社会学科 教授 河野 俊寛 氏
参加者	行政、福祉、教育、労働、相談支援事業所等の関係機関で、初めて相談業務に携わる方もしくは発達障害に関する研修会に参加したことのない方 ※公開講演会を講義の一コマに 8人

研修名	令和6年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（専門研修）	
月 日	令和6年6月25日	
場 所	石川県庁 1102会議室	
内 容	① 講義「発達障害者支援法について」 ② 講義「発達障害のある人への相談支援」 ③ 講義「発達障害とは」	
講 師	① 石川県障害保健福祉課 主事 若林 彩乃 ② 石川県発達障害支援センター 支援課長 酒井 伸吾 ③ やすもと医院 精神科医 安本 真由美 氏	
参加者	福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者で、発達障害に関する 相談経験年数が概ね3年以内の方 21人	
月 日	令和6年7月19日	
場 所	石川県こころの健康センター 研修室	
内 容	講義①「ライフステージに応じた支援～幼児・学齢期～」 講義②「ライフステージに応じた支援～思春期以降～」	
講 師	日本ポーター協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏	
参加者	福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者で、発達障害に関する 相談経験年数が概ね3年以内の方 21人	
月 日	令和6年8月21日	
場 所	石川県こころの健康センター 研修室	
内 容	講義「アセスメントツール研修（概論）」	
講 師	臨床心理士 滋野井 圓 氏	
参加者	福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者で、発達障害に関する 相談経験年数が概ね3年以内の方 19人	
月 日	令和6年8月21日	
場 所	石川県こころの健康センター 研修室	
内 容	実習① 当事者による発表 当事者の立場から体験談を語っていただくことで、支援のヒントを学ぶ	
講 師	当事者	
参加者	福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者で、発達障害に関する 相談経験年数が概ね3年以内の方 22人	

	令和6年9月19日に講義の一コマとして予定されていた関係機関講演会は講師の体調不良により中止
月 日 場 所	令和6年10月11日 石川県こころの健康センター 研修室
内 容	① 講義「発達障害とひきこもりについて学ぶ」 ② 講義「就労関係支援機関における訓練やアセスメントについて学ぶ」 ③ 講義と発表「就労関係支援機関の紹介および当事者の体験発表」
講 師	① 発達障害者支援センターパース 就労支援リーダー 吉本 真悟 氏 ② 就労移行支援事業所リエゾン 施設長 中山 肇 氏 ③ 石川障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 相澤 皆実 氏
参加者	福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者で、発達障害に関する相談経験年数が概ね3年以内の方 ①21人 ②・③19人
月 日 場 所	令和6年11月14日 石川県庁 1102会議室
内 容	講演「就労支援に生かすアセスメント～WAIS-IVの解釈を中心に～」
講 師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志 氏
参加者	福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者で、発達障害に関する相談経験年数が概ね3年以内の方 ※アセスメントツール研修会を講義の一コマに 16人
月 日 場 所	令和6年9月～令和6年12月 計4回 石川県発達障害支援センター
内 容	実習② 石川県発達障害支援センターの機能（個別相談）について ・個別相談の流れについて説明 ・ケースカンファレンスに参加、質疑や意見交換
講 師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者で、発達障害に関する相談経験年数が概ね3年以内の方 計 20人
月 日 場 所	令和6年12月12日 石川県こころの健康センター 研修室
内 容	実習③ 発達障害がある人の支援方法について学ぶ(講義、ワーク等) 「特性理解」と「支援の角度」 ～支援者が誤解しないための視点とアセスメント～
講 師	金沢手をつなぐ親の会 事務局次長 相談支援事業所「きずな」相談支援専門員 笠合 竜明 氏
参加者	福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者で、発達障害に関する相談経験年数が概ね3年以内の方 20人

研修名	令和6年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（実践研修）
月 日 場 所	令和6年9月26日（木）13:00～16:30 石川県こころの健康センター 研修室
内 容	研修Ⅰ「情報交換会」
講 師	司会・進行・助言：石川県発達障害支援センター 支援課長 酒井 伸吾
参加者	過去5年間に、上級研修か専門研修かフォローアップ研修を修了した方 11人
月 日 場 所	令和6年10月24日（木）13:00～17:00 石川県こころの健康センター 研修室
内 容	研修Ⅱ「講義」テーマ：発達障害の特性を理解した対応方法について 「事例検討会（グループワーク）」参加者からの事例発表
講 師 助 言	金沢手をつなぐ親の会事務局次長 相談支援事業所「きずな」相談支援専門員 笠合 竜明 氏
参加者	過去5年間に、上級研修か専門研修かフォローアップ研修を修了した方 12人
月 日 場 所	令和6年11月28日（木）13:00～17:00 石川県こころの健康センター 研修室
内 容	研修Ⅲ「事例検討会（グループワーク）」参加者からの事例発表
講 師	金沢手をつなぐ親の会事務局次長 相談支援事業所「きずな」相談支援専門員 笠合 竜明 氏
参加者	過去5年間に、上級研修か専門研修かフォローアップ研修を修了した方 10人

研修名	令和6年度石川県発達障害支援センター関係機関講演会
令和6年9月19日開催予定であったが、講師の体調不良により中止	

研修名	令和6年度アセスメントツール研修会
月 日	令和6年11月14日（木）10:00～16:00
場 所	石川県庁 1102会議室
内 容	講演「就労支援に生かすアセスメント～WAIS-IVの解釈を中心に～」
講 師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志 氏
参加者	行政、福祉、教育、医療等の発達障害児者支援に携わる職員（72人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（専門研修）受講者（16人） 受講者計 88人

研修名	令和6年度石川県発達障害者支援センター公開講演会
月 日	令和7年3月15日（土）14:00～16:30
場 所	石川県地場産業振興センター 本館2階 第1研修室
内 容	講演「読み書き障害の理解とその支援について ～学齢期から大人まで～」
講 師	北陸大学 国際コミュニケーション学部心理社会学科 教授 河野 俊寛 氏
参加者	医療、保健、福祉、教育、相談機関等の職員、保護者、一般（116人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎研修）受講者（8人） 受講者計 124人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日 時	会 場	内 容	対象及び人数
令和6年5月16日	金沢地方 裁判所	令和6年度石川家庭・少年友の 会研修会	家庭裁判所の調停委員 15人
令和6年6月5日	発達障害支援 センター	金沢工業大学大学院生見学	学生・教員 8人
令和6年6月27日	発達障害支援 センター	新潟県田上町民生・児童委員視 察	民生・児童委員 9人
令和6年7月17日	こころの健康 センター	令和6年度精神保健福祉担当 者研修会	県市町精神保健福祉 担当者 26人
令和6年7月18日	県庁	令和6年度発達障害支援アドバ イザー派遣事業研修会	放課後等デイサービス 職員・行政職員 24人
令和6年8月7日	こころの健康 センター	養護教員健康相談活動事例研 究会	高校養護教諭等 14人
令和6年10月22 日	発達障害支援 センター	金沢医科大学看護学部実習	学生・教員 14人
令和6年12月26 日	こころの健康 センター	養護教員健康相談活動事例研 究会	高校養護教諭等 18人

Ⅲ 資 料

1 精神保健福祉相談状況(電話・メール・来所・訪問)

(1)相談区分別相談件数

区分 保健所		合計 (延)	老人精 神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健 康づくり	うつ・う つ状態	摂食障害	てんかん	その他
南加賀 保健福 祉セン ター	電話	2,021	86	1,291	54	0	1	3	31	477	64	0	0	14
	メール	27	0	8	0	0	0	0	0	17	0	0	0	2
	来所(実78)	153	4	89	7	0	0	0	4	47	1	0	0	1
	訪問(実61)	200	14	134	1	0	0	0	3	41	5	0	0	2
石川中 央保健 福祉セン ター	電話	1,412	53	726	58	2	9	0	9	365	125	5	11	49
	メール	40	0	4	0	0	0	0	0	35	0	0	0	1
	来所(実71)	126	7	56	2	1	3	0	3	51	2	0	0	1
	訪問(実55)	362	18	137	16	0	0	0	4	108	69	0	5	5
能登中 部保健 福祉セン ター	電話	880	46	221	53	0	1	0	7	340	38	0	0	174
	メール	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所(実31)	49	0	13	1	0	3	0	0	24	0	0	0	8
	訪問(実30)	67	5	29	5	0	0	0	0	11	0	0	0	17
能登北 部保健 福祉セン ター	電話	886	24	556	41	0	107	0	26	36	84	0	0	12
	メール	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所(実68)	104	6	47	13	0	1	0	4	19	12	0	0	2
	訪問(実43)	131	2	100	8	0	1	0	6	7	6	0	0	1
金沢市 福祉健 康セン ター	電話	5,292	61	2827	129	4	14	2	75	815	53	2	0	1310
	メール	16	1	3	0	0	0	0	1	6	3	0	0	2
	来所(実238)	514	13	212	8	0	3	1	20	179	12	1	0	65
	訪問(実165)	590	11	382	22	11	0	0	7	30	2	10	0	115
保健所 計	電話	10,491	270	5,621	335	6	132	5	148	2,033	364	7	11	1,559
	メール	93	1	25	0	0	0	0	1	58	3	0	0	5
	来所(実486)	946	30	417	31	1	10	1	31	320	27	1	0	77
	訪問(実354)	1,350	50	782	52	11	1	0	20	197	82	10	5	140

(2)年齢区分別相談件数

保健所		区分	合計	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明
南加賀保健福祉センター	電話	延	2,021	127	107	307	680	454	188	104	54
	来所	実	78	9	6	18	21	14	3	7	0
		延	153	20	6	30	43	44	3	7	0
	訪問	実	61	8	9	12	11	14	4	3	0
		延	200	14	19	35	61	48	9	14	0
石川中央保健福祉センター	電話	延	1,412	24	126	247	385	282	96	147	105
	来所	実	71	5	7	13	19	15	2	10	0
		延	126	9	14	18	27	43	5	10	0
	訪問	実	55	1	6	17	8	10	2	10	1
		延	362	4	44	108	80	69	7	49	1
能登中部保健福祉センター	電話	延	880	26	99	89	119	102	321	112	12
	来所	実	31	1	5	3	7	8	3	3	1
		延	49	1	5	5	13	16	4	4	1
	訪問	実	30	1	2	5	4	6	5	7	0
		延	67	1	8	6	5	11	25	11	0
能登北部保健福祉センター	電話	延	886	10	198	66	254	139	134	71	14
	来所	実	68	3	3	8	10	15	9	18	2
		延	104	3	7	11	20	23	18	20	2
	訪問	実	43	1	5	3	10	10	8	6	0
		延	131	1	12	8	42	30	30	8	0
金沢市福祉健康センター	電話	延	5,292	205	497	1,113	998	1,248	428	640	163
	来所	実	238	22	36	43	49	45	24	16	3
		延	514	32	87	71	115	95	52	58	4
	訪問	実	165	6	21	11	33	43	25	26	0
		延	590	23	58	40	126	166	79	98	0
保健所計	電話	延	10,491	392	1,027	1,822	2,436	2,225	1,167	1,074	348
	来所	実	486	40	57	85	106	97	41	54	6
		延	946	65	119	135	218	221	82	99	7
	訪問	実	354	17	43	48	66	83	44	52	1
		延	1350	43	141	197	314	324	150	180	1

(3) 診断区別相談件数

保健所		区分	合計	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明
南加賀保健福祉センター	来所 実		78	0	1	18	11	3	0	0	2	4	0	0	0	0	39
	延		153	0	1	32	26	9	0	0	23	11	0	0	0	0	51
	訪問 実		61	4	2	16	13	8	0	0	2	5	0	0	0	0	11
	延		200	21	14	64	39	23	0	0	12	8	0	0	0	0	19
石川中央保健福祉センター	来所 実		71	0	0	7	13	6	0	1	0	2	1	0	0	41	0
	延		126	0	0	32	21	9	0	1	0	3	1	0	0	59	0
	訪問 実		55	3	1	15	18	4	0	1	1	2	1	0	0	8	1
	延		362	15	16	117	119	22	0	2	5	5	3	0	0	57	1
能登中部保健福祉センター	来所 実		31	1	0	6	7	1	0	1	0	2	0	0	0	0	13
	延		49	6	0	8	9	1	0	1	0	2	0	0	0	0	22
	訪問 実		30	0	2	15	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	7
	延		67	0	7	40	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	14
能登北部保健福祉センター	来所 実		68	6	4	16	11	5	0	0	2	8	0	2	2	5	7
	延		104	6	6	27	23	5	0	0	2	13	0	2	2	5	13
	訪問 実		43	0	2	17	7	4	0	0	0	6	0	0	1	3	3
	延		131	0	3	67	15	24	0	0	0	12	0	0	1	5	4
金沢市福祉健康センター	来所 実		238	1	3	41	43	18	4	1	3	11	2	0	6	0	105
	延		514	2	4	109	94	26	5	11	9	39	2	0	9	0	204
	訪問 実		165	10	7	64	32	9	2	0	1	10	3	0	1	0	26
	延		590	12	43	271	103	29	3	0	4	35	9	0	4	0	77
保健所計	来所 実		486	8	8	88	85	33	4	3	7	27	3	2	8	46	164
	延		946	14	11	208	173	50	5	13	34	68	3	2	11	64	290
	訪問 実		354	17	14	127	74	26	2	1	4	24	4	0	2	11	48
	延		1,350	48	83	559	280	99	3	2	21	61	12	0	5	62	115

※診断名はICD10に準ずる

(4) 自殺・ひきこもり区分別相談件数(再掲)

保健所	区分	自殺	ひきこもり						
			10代	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計
南加賀保健福祉センター	電話	98	0	0	14	15	0	0	29
	メール	4	0	0	3	2	0	0	5
	来所 実	3	0	0	3	3	0	0	6
	延	4	0	0	3	5	0	0	8
	訪問 実	7	0	0	1	0	0	0	1
	延	18	0	0	2	0	0	0	2
石川中央保健福祉センター	電話	315	2	5	20	28	35	4	94
	メール	23	0	0	12	0	0	0	12
	来所 実	3	1	3	3	2	5	0	14
	延	5	2	7	3	2	7	0	21
	訪問 実	16	0	1	3	2	2	0	8
	訪問 延	80	0	1	48	9	29	0	87
能登中部保健福祉センター	電話	67	5	43	16	29	15	0	108
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所 実	0	0	2	2	2	3	0	9
	延	0	0	2	4	8	9	0	23
	訪問 実	1	0	2	1	0	2	0	5
	訪問 延	1	0	8	1	0	10	0	19
能登北部保健福祉センター	電話	21	6	56	10	17	1	0	90
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所 実	3	1	0	1	2	0	0	4
	延	4	1	0	1	8	0	0	10
	訪問 実	3	1	1	0	4	0	0	6
	訪問 延	7	1	2	0	22	0	0	25
金沢市福祉健康センター	電話	191	35	37	14	82	71	0	239
	メール	2	0	0	0	0	0	0	0
	来所 実	14	6	12	3	6	9	0	36
	延	25	9	46	6	14	13	0	88
	訪問 実	13	2	1	1	2	6	0	12
	延	57	5	8	1	8	28	0	50
保健所計	電話	692	48	141	74	171	122	4	560
	メール	29	0	0	15	2	0	0	17
	来所 実	23	8	17	12	15	17	0	69
	延	38	12	55	17	37	29	0	150
	訪問 実	40	3	5	6	8	10	0	32
	延	163	6	19	52	39	67	0	183

2 普及啓発活動

保健所	区分	講演会			ゲートキーパー養成等事業及び若い世代の心の健康作り事業		
	内容	人数	内容	対象	人数	内容	対象
南加賀保健福祉センター		なし			4	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(金沢大学看護学部)
					8	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(金沢大学看護学部)
					125	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(小松大学)
					9	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(小松大学保健医療学部看護学科)
					8	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(小松大学保健医療学部看護学科)
					12	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(金城大)
					1	ゲートキーパー養成研修	一般
石川中央保健福祉センター		なし			3	ゲートキーパー養成講座	金沢大学専攻科
					12	ゲートキーパー養成講座	金城大学専攻科
					41	ゲートキーパー養成講座	かほく市民
					84	ゲートキーパー養成講座	県立看護大学2年生
能登中部保健福祉センター		なし			なし		
能登北部保健福祉センター	17	こころのケア研修	能登北部圏域の災害支援に携わる支援者、医療、行政、保健、福祉、介護、就労等の支援者、教育関係者、警察、消防、ささえあいセンターの支援者等	3	ゲートキーパー養成研修	当所新任保健師	
金沢市福祉健康センター	220	こころの健康づくり講座	大学生	220	ゲートキーパー研修	大学生	
	70	こころの健康づくり講座	大学生	85	ゲートキーパー研修	女子短期大学生	
	85	こころの健康講座	女子短期大学生	23	ゲートキーパー研修	地域住民	
	172	こころの健康づくり講座	大学生	324	ゲートキーパー研修	大学生	
	23	こころの健康づくり講座	地域住民	22	ゲートキーパー研修	市職員	
	324	こころの健康講座	大学生	92	ゲートキーパー研修	大学生	
	92	こころの健康づくり講座	大学生	63	ゲートキーパー研修	大学生	
	63	こころの健康づくり講座	大学生	5	ゲートキーパー研修	大学生	
	78	こころの健康づくり講座	大学生	5	ゲートキーパー研修	大学生	
	30	こころの健康づくり講座	地区住民	5	ゲートキーパー研修	大学生	
	60	スキルアップ研修	ひきこもり支援者	17	ゲートキーパー研修	専門学校生	
	18	こころの健康づくり講座	大学生	18	ゲートキーパー研修	専門学校生	
	18	こころの健康づくり講座	大学生	55	ゲートキーパー研修	包括支援センター職員	
	18	こころの健康づくり講座	大学生	5	ゲートキーパー研修	大学生	
	18	こころの健康づくり講座	大学生	18	ゲートキーパー研修	大学生	
	344	こころの健康講座	大学生	18	ゲートキーパー研修	大学生	
	16	こころの健康づくり講座	施設職員	18	ゲートキーパー研修	大学生	
	10	こころの健康づくり講座	地区住民	18	ゲートキーパー研修	大学生	
	64	こころの健康づくり講座	大学生	5	ゲートキーパー研修	大学生	
	21	こころの健康づくり講座	地区住民	344	ゲートキーパー研修	大学生	
	9	こころの健康講座	介護職員	4	ゲートキーパー研修	大学生	
	17	こころの健康づくり講座	地域住民	10	ゲートキーパー研修	地域住民	
	16	みんなのメンタルヘルス	ボランティア大学校受講者	4	ゲートキーパー研修	専門学校生	
					4	ゲートキーパー研修	大学生
					32	ゲートキーパー研修	専門学校生
					24	ゲートキーパー研修	市職員
					26	ゲートキーパー研修	市職員
					9	ゲートキーパー研修	介護職員
				17	ゲートキーパー研修	地域住民	
				16	ゲートキーパー研修	ボランティア大学受講者	

保健所	自殺予防普及啓発事業(街頭キャンペーン、ラジオ、広報等)	
	回数	
南加賀保健福祉センター	2	街頭キャンペーン
石川中央保健福祉センター	2	ラジオ出演
能登中部保健福祉センター	2	ラジオ出演
能登北部保健福祉センター	1	街頭キャンペーン
	2	(ホームページ)普及啓発記事の投稿
金沢市福祉健康センター	4	ラジオ出演
	2	(Facebook)普及啓発記事の投稿

3 関係機関・団体との連携

保健所	機関名	支援内容	回数
南加賀保健福祉センター	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会のちと心の部会	1
	小松市	小松市精神障がい者地域生活支援検討部会	3
	小松市	精神事例検討会	6
	小松市	小松市自立支援協議会全体会議	1
	小松市社会福祉協議会	小松市生活困窮者自立支援調整会議	1
	加賀市	加賀市じりつ支援協議会	1
	加賀市	加賀市地域移行支援会議	5
	加賀市	ひきこもり支援体制検討会	1
	加賀市	庁内外自殺対策連絡会	1
	加賀市	精神事例検討会	1
	能美市	能美市自殺防止対策連絡協議会	1
	能美市	精神事例検討会	7
	能美市	ひきこもり専門職チーム派遣ケース検討会	1
	メンボラTOMOの会	メンボラTOMOの会役員会	3
	金沢保護観察所	加賀地区地域支援ネットワークに関する会議	1
	金沢保護観察所	小松能美地区地域支援ネットワークに関する会議	1
	金沢保護観察所	薬物依存対象者地域支援連絡会議	1
	精神科病院	精神事例検討会	2
	相談支援事業所	精神事例検討会	1
石川中央保健福祉センター	白山市	地域生活部会、ノーマネットはくさん全体会	4
	白山市	障害者計画策定委員会	1
	白山市	障害者差別解消のまちづくり支援協議会	1
	白山市	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム研修会・地域移行・地域定着支援会議	2
	白山市	虐待防止ネットワーク会議	1
	白山市	ケア会議	3
	野々市市	障害者自立支援協議会精神包括ケア部会	1
	野々市市	虐待等防止協議会障害者虐待防止部会	1
	野々市市	障害者基本計画等策定委員会	1
	野々市市	自殺対策協議会	1
	野々市市	ケア会議	5
	かほく市	地域自立支援協議会、地域自立支援協議会運営会議	3
	かほく市	高齢者および障害者虐待防止協議会	2
	かほく市	自殺対策推進委員会	1
	かほく市	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築のための連絡会	1
	津幡町	障害者地域自立支援協議会	1
	津幡町	ケア会議	1
	内灘町	相談支援事業所連絡会	1
	内灘町	ケア会議	1
	病院	ケア会議	8
	金沢保護観察所	ケア会議	5
	相談支援事業所、他	ケア会議	3
能登中部保健福祉センター	金沢保護観察所	医療観察対象者のケア会議、同行訪問	11
	七尾市・中能登町	七尾市・中能登町地域自立支援協議会	4
	七尾市	事例検討会	2
	志賀町	事例検討会	1
	羽咋市	事例検討会	1
	公立能登総合病院	事例検討会	6
	さいこうえんの障害者生活支援センター	事例検討会	1
	羽咋市	同行訪問	2
	能登病院訪問看護ステーション	同行訪問	2
	らいず訪問看護ステーション	同行訪問	3
	相談支援事業所なんでも	同行訪問	1
	ピアサポートのと	同行訪問	1
	みそぎ会	総会	3
	能登中部圏域家族連絡会	打合せ、連絡会等	1

保 健 所	機 関 名	支 援 内 容	回 数
能登北部保健福祉センター	奥能登自立支援協議会	全体会	1
	輪島市	地域ケア会議	3
		奥能登自立支援協議会 輪島市連絡会議	12
		輪島市支え合いセンター打合せ会	4
		同行訪問	25
	珠洲市	ささえ愛センター情報共有会 事例検討会	1
		地域支援会議	3
		同行訪問	3
	穴水町	奥能登自立支援協議会 穴水町連絡会	1
		同行訪問	1
	能登町	奥能登自立支援協議会 能登町連絡会議	1
		能登町精神保健福祉連絡会議	1
		能登町要保護児童対策協議会個別ケース検討会議	1
		能登町自殺対策推進連絡会	1
		同行訪問	3
	金沢保護観察所	ケア会議	1
	北陸病院	同行訪問	2
	県立こころの病院	ケア会議	3
	七尾松原病院	ケア会議	3
	公立能登総合病院精神センター	ケア会議	1
	医療機関	同行訪問	8
	DPAT	同行訪問	5
	訪問看護	同行訪問	7
	ピアサポート北のと	同行訪問	5
	相談支援キララ	同行訪問	3
	日本海倶楽部	同行訪問	1
	その他(JOCA,社協)	同行訪問	2
	警察	同行訪問	1
	断酒会	合同酒害相談	6
金沢市福祉健康センター	医療機関等	ケア会議	103
	家族会	定例会等における支援	5
	金沢市	自殺防止対策庁内相談担当者連絡会	1
	金沢保護観察所	ケア会議	8
	ハローワーク等関係機関	ネットワーク連絡会	5
	市民活動団体	連携体制の構築、活動支援、情報提供	6
	ボランティアグループ	ボランティア育成支援、ひきこもり長期化防止事業委託	4
	地域活動支援センター	健康教育、連携、情報提供	2
	自治体・市民活動団体	連携、講話、情報交換等	3

4 集団活動

(1) 当事者活動

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター				ひきこもり社会参加復帰事業(社会復帰支援教室) 近況話し合い、ゲーム、調理、手工芸、スポーツ、外出等
石川中央保健福祉センター				
能登中部保健福祉センター	1	2	2	
能登北部保健福祉センター	9	1	9	
金沢市福祉健康センター				

(2) 家族教室

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	1	19	19	ひきこもり家族交流会、講演会
	2	22	22	依存症家族交流会、講演会
石川中央保健福祉センター	3	2	4	ひきこもり家族交流会(個別相談、座談会)
	1	7	7	依存症家族教室(アルコール、ギャンブル、ゲーム等)
	2	28	28	うつ病家族教室
能登中部保健福祉センター	10	8	21	ひきこもり家族交流会、講話、ひきこもりサポーターとの交流
	1	12	12	アルコール関連問題家族教室
	1	5	5	うつ病家族教室
能登北部保健福祉センター				
金沢市福祉健康センター				

5 こころの健康センター貸出しDVD一覧

分類	番号	題 名	(分)時間	対象者	内容
児童	2113	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD 1	284	児童	「ゴーゴーもるもくん」「恐竜あいうえお」「まちをつくるじどうしゃ」他5編
	2114	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD 3	336	児童	日本の昔話17編、他2編
	2115	「交通事故で家族を亡くした子どもの支援」に関するシンポジウム基調講演 子どもと死 ―その理解と支援―	52	一般	制作・著作：内閣府
こころの健康	2234	自殺対策マニュアル		一般	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従事者のために
	2235	統合失調症の人の回復力を高める①回復力を高める接し方	95	一般	統合失調症の症状、治療、再発予防について基本的な講義
	2236	統合失調症の人の回復力を高める②ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
	2237	統合失調症の人の回復力を高める③家族のSSTの進め方	45	一般	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。
	2238	こころの病気を学ぶ授業～統合失調症～		一般	2008年普及活動及び授業実施報告
	2239	眠れなくなった父さんヒツジ	30	一般	うつ病の人の94%に「睡眠障害」があると報告されています。
	2240	こころのサインに気づいたら～悩んでいる人にあなたができること～	11	一般	悩んでいる人との向き合い方について。
	2241	こころのサインに気づいたら～悩んでいる人との向き合い方について～	172	一般	悩んでいる人との向き合い方について。
	2242	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～	91	一般	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2243	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(被災地対応編)	152	一般	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2244	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(講義編・資料編)	91	一般	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2245	スッキリ睡眠でイキイキと	36	一般	睡眠の基礎知識について。
	2246	睡眠保健指導No. 1	23	保健指導者	睡眠保健指導の意義と重要性について。
	2247	睡眠保健指導No. 2	25	保健指導者	睡眠保健指導の具体的な方法について。
	2248	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(地域対応編・心得編)	144	一般	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2249	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第1巻 うつ病って何だろう	70	一般	うつ病と付き合っていくために知っておきたい大切な事柄について。
	2250	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第2巻 うつと生きる	104	一般	うつとともに生きてきたある会社員の17年間の葛藤の軌跡。
	2251	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第3巻 ふたたび職場へ	82	一般	神奈川県川崎市にある武田病院のリワークプログラムを紹介。

分類	番号	題 名	(時間 分)	対 象 者	内 容
こころの健康	2252	平成19年度 いしかわ夢広場 3	59	児童	平成19年度に放送した「心の教育」ラジオ広報番組「いしかわ夢広場」の中から、子どもたちに親しみやすいお話を6編収録。
	2254	スポーツ祭東京2013精神障害者フットサル		一般	精神障害者のフットサル大会。
	2255	石川県ゲートキーパーDVDかけがえのない命をまもるためにあなたもゲートキーパー	18	一般	ゲートキーパーの役割について。
	2256	うつ病者の社会的支援のための客観的指標・運動プログラムの開発～医療モデルからソーシャルモデルへ～	39	専門職	立教大学コミュニティ福祉研究所の研究記録。
	2257	ひきこもりからの回復 全三巻	236	一般	「ひきこもり」の理解と回復の支援について
精神保健	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	精神障害者バレーボール全国大会の模様を紹介。
	2447	ピアカウンセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	ピアカウンセリングを共に学ぶ仲間づくり。
	2453～ 2456	N（ネガティブ）からP（ポジティブ）へのすすめ～東尋坊からのメッセージ～（パート1～9）	101	一般	人生相談を受けた時に会話をした内容。①10分②9分③15分④13分⑤15分⑥13分⑦9分⑧14分⑨3分
	2457	摂食障害者の自助・ピアサポートグループNABA 活動紹介映像 映像版「いいかげんに生きよう」	20	一般	活動内容や摂食障害を経験したメンバーのメッセージなど。
	980	摂食障害 理解と回復のために	203	一般	第1巻 摂食障害かなと思ったら（53分） 第2巻 家族・支援者の皆さんへ（60分） 第3巻 経験者に聞く 回復までの道のり（90分）
依存症関連	2538	出所後の道しるべ ～薬物を使わない新たな人生に向かって～	62	一般	ダルクの紹介と出所後の流れについて。
	2539	ダメ。ゼッタイ。薬物乱用は脳を破壊する！	15	一般	薬物乱用防止の普及啓発。
	2540	“依存症”からの回復 第1巻“依存症”とは何か	59	一般	依存症の正しい理解について。
	2541	“依存症”からの回復 第2巻回復への道	67	一般	依存症からの回復のために必要な支援について
	2542	“依存症”からの回復 第3巻家族を支える	63	一般	家族が陥りがちな悪循環の構造を読み解き、回復への道を探る。
	2543	あなたの大切な人とお酒の関係 アルコール依存症の理解と対応	24	一般	アルコール依存症の理解とその対応について（保健所等での相談対応の手法等）
	2544	アルコール依存症に対する家族の効果的な対応の仕方	64	一般	アルコール依存症に対する家族の対応について。

分類	番号	題 名	(時間 分)	対象者	内容
心理・面接技法	2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもりこみながら斉藤環氏が解説。
	2636	ひきこもり①ひきこもりに対する正しい理解	7	一般	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作された。
	2637	ひきこもり②支援の実践にあたって	43	一般	同上
	2638	ひきこもり③検証・支援現場～民間編～	39	一般	同上
	2639	ひきこもり④検証・支援現場～公的機関編～	35	一般	同上
	2640	実録・家族療法1巻「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法2巻「力動的精神療法」に基づく家族面接	68	一般	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2642	実録・家族療法3巻「システムアプローチ」に基づく家族面接	872	一般	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2644	認知行動療法 ベてる式	95	一般	べてるの家の幅広い活動を（認知行動療法）という視点から切り取って紹介。